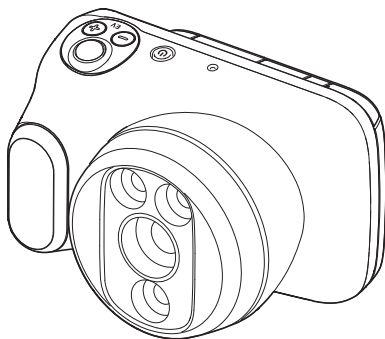


**CASIO®**

コルポカメラ

機種名 **DZ-C100**

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 「保守・点検事項」をよくお読みの上、保守点検を実施してください。
- ・ 本機に同梱された別冊のクイックスタートガイドは、使い始めの基本的な操作方法をまとめています。
- ・ 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

重要

- ・ 本機のみで診断を行うものではありません。
- ・ 本機は、撮像素子、レンズおよび照明用のLEDなどにより構成される子宮頸部観察用のデジタルカメラです。
- ・ 本機の定格情報を確認する際は、本機と操作者との距離40cm以内を目安にご確認ください。
- ・ 本機は、観察部位に直接接触せずに使用する医家向け医療機器です。医師またはその他の医療従事者以外は使用しないでください。
- ・ 本機は、一般医療機器(クラスⅠ)特定保守管理医療機器(医療機器届出番号:06B2X10006000003)です。

製品の特徴

本機は女性器(子宮頸部、膣、外陰等)の観察、撮影が可能なデジタルカメラです。
液晶モニターの観察倍率は、レンズ先端から観察部位までの距離が19cmで約1.5倍、
30cmで約1.0倍、38cmで約0.8倍です。また、デジタルズームで8倍までズームできます。
LEDライトの種類は、通常光(通常の可視光)、グリーン光、偏光です。

使用目的

子宮頸部、膣、外陰等の観察、撮影に使用します。

原理について

レンズから捉えた像は、撮像素子から取り込んだデータをデジタル画像に変換し、液晶モニターに表示します。

また、シャッターボタンを押すことにより、被写体を撮影し、内蔵メモリー又はメモリーカードに保存します。

通常光、グリーン光および偏光での観察、撮影ができます。

同梱品を確認する

箱を開けたら、次の同梱品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にご連絡ください。

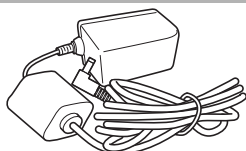


本体
(型式 DZ-C100)



リチウムイオン充電電池
(型式 DNP-100M)

本機に挿入し、電源を供給します。
単品で追加購入可能です。



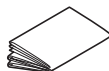
本体充電用ACアダプター
(型式 AD-M50300AC)

リチウムイオン充電電池を挿入した本体に接続することで、本体電源ON時は本体に給電し、本体電源OFF時はリチウムイオン充電電池を充電します。
単品で追加購入可能です。



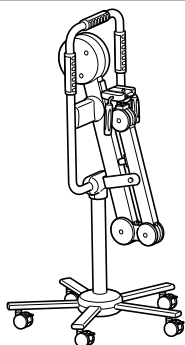
レンズキャップ

レンズおよびLEDライトを保護します。



クイックスタートガイド
(保証書付き)

使い始めの基本的な操作方法がまとめられています。

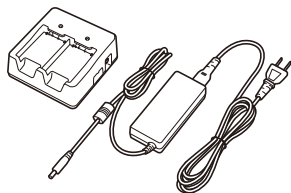


カメラスタンド
(型式:CST-100M)

カメラスタンドを使うことで、観察・撮影の際の利便性が向上します。

詳しい使い方はカメラスタンドの詳細取扱説明書をご覧ください。

カメラスタンドは非医療機器です。



充電器セット
(型式 DCS-100M)

2個のリチウムイオン充電電池を同時に充電することが可能です。リチウムイオン充電器、リチウムイオン充電器用AC アダプター、電源コードが含まれます。充電器セットは非医療機器です。

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 撮影した写真には機密健康情報が含まれる場合があります。取り扱いには十分注意してください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

消毒方法について

- 本機の使用前と使用後は、適正な濃度のアルコール系消毒液等で拭き取り、清潔な状態を保ってください。
- アルコール系消毒液等は火気の近くでは使用しないでください。

製品の特徴	2
使用目的	2
原理について	2
同梱品を確認する	3
別売品	4
あらかじめご承知ください	5
各部の名称	9
液晶モニターの表示内容と切り替えかた	10

■ はじめにご覧ください(基本的な操作)

13

箱を開けたら、リチウムイオン充電電池を充電する	13
■ リチウムイオン充電電池を入れる	13
■ 充電する	15
カメラスタンド(別売品)を準備する	18
■ カメラスタンドの各部の名称	18
■ カメラスタンドにカメラを取り付ける	18
■ カメラの位置を調整する	19
■ 収納時のご注意	21
メモリーカードを準備する	22
■ メモリーカードを入れる	22
電源を入れる／切る	24
タッチパネルを使う	25
最初に電源を入れたら表示言語と日時を設定する	26
液晶モニターの角度調整	27
正しい観察・撮影のしかた	28
撮影する	29
■ 撮影モードを設定する	29
■ シャッターボタンを押して撮影する	30
■ タッチパネルを使って撮影する (タッチフォーカス)	31
撮影した静止画や動画を見る	32
撮影した静止画や動画を消去する	33
撮影時のご注意	36

■ 撮影する

37

撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する	37
■ CONTモードで撮影する (CONT)	37
■ SINGLEモードで撮影する (SINGLE)	38
■ MOVIEモードで撮影する (MOVIE)	39
撮影直後の画像を表示する	39

■ 撮影設定について

40

画像の明るさを補正する (露出補正)	40
デジタルズームで撮影する	40
より良い撮影のための設定	42

■ 撮影情報を表示する	42
■ 露出モードを切り替えて撮影する	43
■ LEDライトの明るさを切り替えて撮影する	43
■ LEDライトの種類を切り替えて撮影する	43
■ セルフタイマーを使う	44
■ 通常光および偏光の色味を調整する	(ホワイトバランス) 44
■ グリーン光の色味を調整する	(グリーン撮影調整) 45

■ 静止画や動画を再生する 46

撮影した静止画や動画を見る	46
画像をデジタルズームで拡大表示する	46
画像を一覧表示する	(サムネイル表示) 46

■ 再生時のその他の機能 47

いろいろな再生機能や設定を利用する	47
■ 医師ID、患者IDを初期化する	47
■ 動画再生時の音量を設定する	47
外部モニターで画像を見る	48
■ 外部モニターで見ながら撮影する	48

■ カメラとパソコンを接続する(無線接続) 50

無線モードについて	51
最初に無線接続の設定をする	52
■ 画像をパソコンに送信する	(自動転送) 54
■ 無線接続時のカメラのパスワードを変更する	55

■ パソコンを利用する 56

パソコンを使ってできること	56
Windowsパソコンを利用する	56
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	56
macOSを利用する	60
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	60
ファイルとフォルダーについて	62
メモリー内のデータについて	63

■ その他の設定について 64

その他の設定を変更する	64
■ 無線の設定をする	64
■ 静止画のサイズを設定する	64
■ 液晶モニターの明るさを変える	64
■ カメラの音を設定する	65
■ オートスリープ時間を設定する	65
■ カメラの日時を設定し直す	65
■ 日付の表示の並びを変える	65

■ 表示言語を切り替える	65
■ ホワイトバランス調整	66
■ グリーン撮影調整	66
■ 医師IDを設定する	66
■ 患者IDを設定する	66
■ 偏光のON/OFF設定	66
■ 再生フォルダーを設定する	66
■ ごみ箱機能設定	67
■ サムネイル表示の日付ラベル設定	67
■ ロックNo.設定	67
■ メモリーをフォーマットする	67
■ 各種設定を購入直後の設定に戻す	67
■ カメラのファームウェアのバージョンを確認する	68

■ 安全上のご注意 69

■ 使用上のご注意 76

電源について	83
■ 充電について	83
■ リチウムイオン充電池に関するご注意	83

■ 付録 84

メモリーカードについて	84
リセット操作でリセットされる内容	85
故障かな？と思ったら	86
■ 現象と対処方法	86
■ 画面に表示されるメッセージ	89
撮影可能枚数／撮影可能時間	90
主な仕様／別売品	91

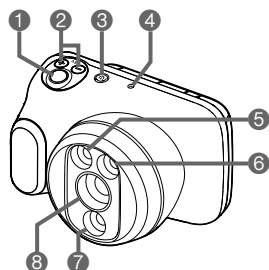
■ 保守・点検事項 95

日常点検	95
定期点検：ファームウェアの確認	95
定期点検：ボタン機能の確認	96
定期点検：マイク／スピーカーの動作確認	99
定期点検：電源関連の動作確認	99
定期点検：外観の確認	100
定期点検：業者による保守点検事項	101
索引	102
アフターサービス窓口について	103

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

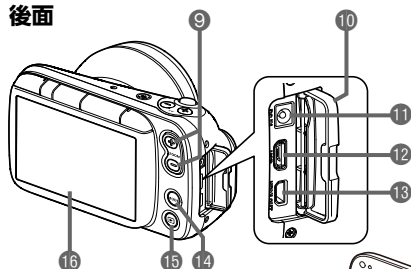
前面



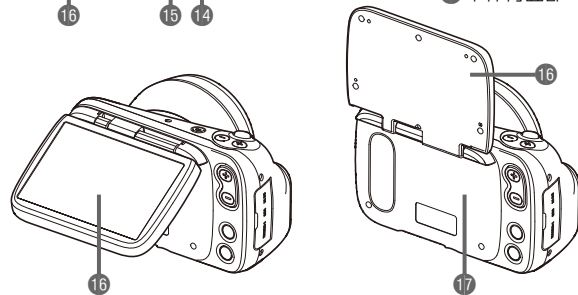
- ① シャッターボタン
- ② EVボタン
- ③ 【**⏻**】電源ボタン/
動作確認インジケーター
- ④ マイク
- ⑤ 通常光ライト *
- ⑥ グリーン光ライト *
- ⑦ 偏光ライト *
- ⑧ レンズ

※ ⑤、⑥、⑦はLEDライト

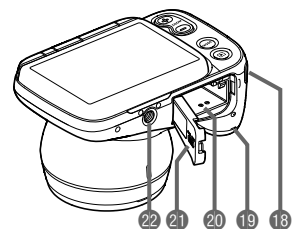
後面



- ⑨ ズームボタン (30、32、40、46ページ)
- ⑩ 端子カバー
- ⑪ 【DC IN】ジャック
- ⑫ 【USB】端子 (57ページ)
- ⑬ 【HDMI OUT】端子
- ⑭ 【MODE】ボタン
- ⑮ 【**▶**】再生ボタン (24、29、32ページ)
- ⑯ 液晶モニター (10、12、29ページ)
- ⑰ 本体背面部



底面



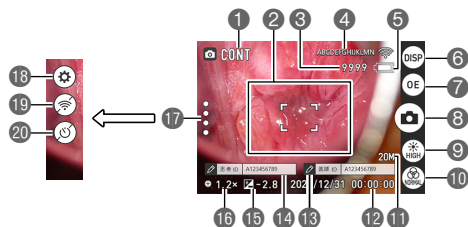
- ⑱ ストラップ取り付け部
- ⑲ スピーカー
- ⑳ リチウムイオン充電電池／メモリーカード挿入部
(13、22ページ)
- ㉑ 電池カバー
- ㉒ 三脚穴

液晶モニターの表示内容と切り替えかた

液晶モニターには、さまざまな情報がアイコンや数字などで表示されます。

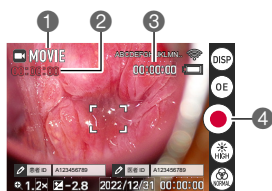
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影時



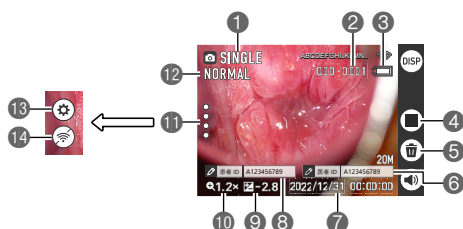
- | | |
|------------------------|--|
| ① 撮影モード (37ページ) | ⑬ 医師ID (66ページ) |
| ② フォーカスフレーム (30ページ) | ⑭ 患者ID (66ページ) |
| ③ 静止画撮影可能枚数 (90ページ) | ⑮ 露出補正 (40ページ) |
| ④ 無線の通信状況 (51ページ) | ⑯ デジタルズーム (40ページ) |
| ⑤ 電池残量表示 (17ページ) | ⑰  (呼び出し)アイコン
(44、52、53、64ページ) |
| ⑥ 情報表示切替アイコン (12ページ) | ⑱ 設定アイコン
(44、52、53、55、64ページ) |
| ⑦ 露出モード切替アイコン (43ページ) | ⑲ 無線接続切替アイコン (64ページ) |
| ⑧ 撮影アイコン (30ページ) | ⑳ セルフタイマーアイコン (44ページ) |
| ⑨ 明るさ切替アイコン (43ページ) | |
| ⑩ LEDライト切替アイコン (43ページ) | |
| ⑪ 静止画の画像サイズ | |
| ⑫ 日付／時刻 (26、65ページ) | |

■ 動画撮影時



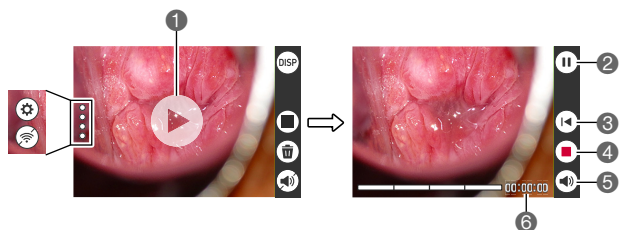
- | |
|----------------------|
| ① 撮影モード (37ページ) |
| ② 動画の撮影時間 |
| ③ 動画の残り撮影時間 (90ページ) |
| ④ 録画スタートアイコン (39ページ) |

■ 静止画再生時



- ① 撮影モード (37ページ)
- ② 画像枚数 (フォルダ番号とファイル名) (90ページ)
- ③ 電池残量表示 (17ページ)
- ④ サムネイル表示切替アイコン (46ページ)
- ⑤ ごみ箱アイコン (33, 67ページ)
- ⑥ 医師ID (66ページ)
- ⑦ 撮影日時 (26, 65ページ)
- ⑧ 患者ID (66ページ)
- ⑨ 露出補正 (40ページ)
- ⑩ 撮影時の倍率 (40ページ)
- ⑪ (呼び出し) アイコン (44, 52, 53, 64ページ)
- ⑫ 撮影時のLEDライト (43ページ)
- ⑬ 設定アイコン (44, 52, 53, 55, 64ページ)
- ⑭ 無線接続切替アイコン (64ページ)

■ 動画再生時



- ① 再生スタートアイコン
- ② 一時停止アイコン
- ③ 巻き戻しアイコン
- ④ 動画再生停止アイコン
- ⑤ 動画音量設定アイコン (47ページ)
- ⑥ 動画再生時間 (90ページ)

■ 液晶モニターの表示内容を切り替える

ⓂSP (情報表示切替) をタップするごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます。撮影モード、再生モードでそれぞれ設定できます。

撮影モード

通常表示モード	通常の画面表示です。
アイコン非表示モード	すべての情報が非表示となります。
全アイコン表示モード	通常表示モードの情報に加え、すべての情報が表示されます。

詳しくは42ページをご覧ください。

再生モード

情報表示あり	撮影時の設定内容や日付／時刻などの情報が表示されます。
情報表示なし	撮影時の情報が表示されません。

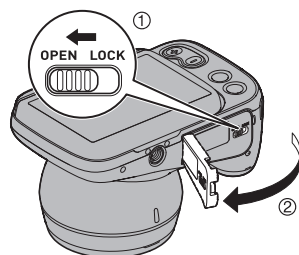
はじめにご覧ください(基本的な操作)

箱を開けたら、リチウムイオン充電電池を充電する

本機は専用のリチウムイオン充電電池 DNP-100M (以降、DNP-100M、リチウムイオン充電電池、電池と記載) を電源として使用します。(DNP-100M以外の電池は使用できません) お買い上げ直後は、電池は満充電されていません。次の手順でカメラに電池を入れた後に充電してください。

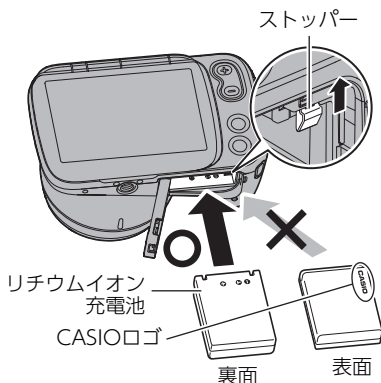
リチウムイオン充電電池を入れる

1. 電池カバーを開ける

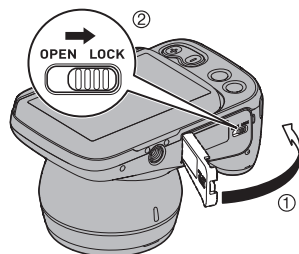


2. 電池を入れる

電池のCASIOロゴのある面を下(レンズ側)にして、電池の側面でストッパーを矢印の方向にずらしながら電池を入れます。ストッパーが電池にかかるまでしっかり押し込んでください。

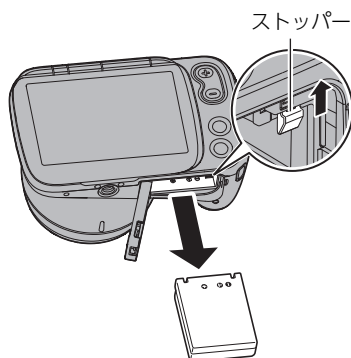


3. 電池カバーを閉める



電池を交換する

1. 【**⏻**】電源ボタンを押して電源を切り、電池カバーを開ける
2. 電池を取り出し、新しい電池を入れる
3. 電池カバーを閉める



重要

- 【**⏻**】電源ボタンを押して電源を切ったとき、動作確認インジケータ（9ページ）が緑色に点滅している間は電池を取り出さないでください。データが消えたり、変化したりすることがあります。

参考

- カメラをカメラスタンドに取り付けたままでも電池を交換することができます。詳しくは「カメラスタンド(別売品)を準備する」(18ページ)をご覧ください。

充電する

電池の充電方法には、次の2種類の方法があります。

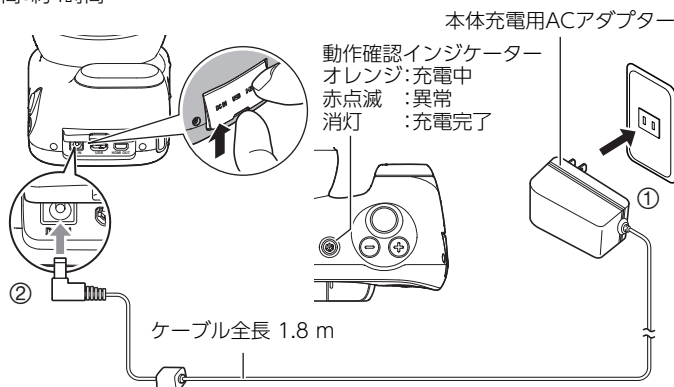
- 本体充電用ACアダプター (AD-M50300AC) で充電する
- 充電器セット (DCS-100M (別売品)) で充電する

■ 本体充電用ACアダプターで充電する

電池をカメラに装着したまま充電します。

カメラの電源が切れた状態で、①、②の順に接続します。

充電時間: 約4時間



本体から本体充電用AC アダプターを外す際は、必ず本体接続側(上図②)から外してください。

先にコンセントプラグ側(上図①)から外すと故障の原因となることがあります。

★ 重要

- 本体充電用ACアダプターがカメラと接続された状態で【**⏻**】電源ボタンを押すと、カメラが起動します。このとき、充電は停止します。
- 充電中、本体充電用ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

動作確認インジケーターの動作

動作	内容
オレンジ点灯	充電中
赤点滅	本体周辺の温度異常／本体充電用ACアダプターの異常／リチウムイオン充電電池の異常(83ページ)
消灯	充電完了

動作確認
インジケーター

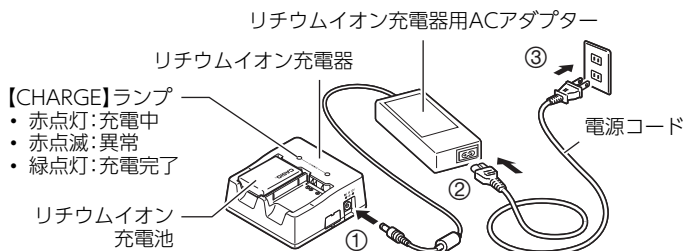


■ 充電器セット (DCS-100M(別売品))で充電する

- 充電器セット (DCS-100M) には、リチウムイオン充電器、リチウムイオン充電器用ACアダプター、電源コードが含まれます。
- 電池をカメラから取り外して充電します。
- 電池と充電器の極性(⊕、⊖)を合わせて電池を充電器にセットし、①、②、③の順に接続します。

充電時間： 1 個を装着した場合 約 3 時間 30 分

2 個を装着した場合 約 4 時間



その他充電についてのご注意

- リチウムイオン充電電池 (DNP-100M) は本書指定の方法で充電してください。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- 充電器セット (DCS-100M) は本機およびその他指定された機器以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定した機器をご使用ください。指定以外の機器で充電した場合は、正しく充電できないことがあります。
- 本体充電用ACアダプターの着脱を妨げる場所に本機を置かないでください。

電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量	多い ←————→ 少ない						
電池残量表示		→		→		→ 	→ 
残量表示の色	白	→	白	→	白	→ 赤	→ 赤

 は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

 の状態では撮影できません。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が入っていない、または消耗している状態でカメラを約20日放置すると、日時の設定がリセットされます。新たに電源を入れたとき、日付の設定をお知らせする画面が表示されますので、日付を設定してください(65ページ)。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては92ページをご覧ください。
- 本体充電用ACアダプターで充電中にカメラの電源を入れると、電池残量表示は  (給電中) を表示します。

電池を長持ちさせるために

消費電力をおさえるため、本機にはスリープ機能とオートパワーオフ機能があります。

- スリープ機能

撮影モードで一定時間*何も操作しないと、スリープ状態になり、液晶モニターとLEDライトが消灯します。スリープ状態を解除するにはいずれかのボタンを押します。

※ 初期設定は5分です。設定の変更方法は65ページをご覧ください。

- オートパワーオフ機能

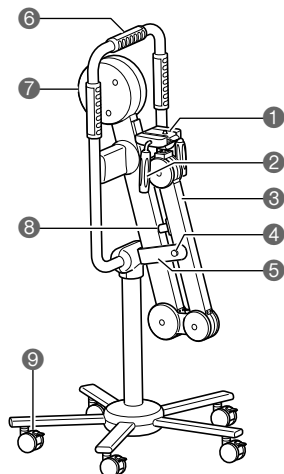
スリープ状態に移行後約10分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

カメラスタンド(別売品)を準備する

カメラスタンド(別売品:CST-100M)を使うことで、観察・撮影の際の利便性が向上します。
カメラスタンドは非医療機器です。

カメラスタンドの各部の名称

- ① カメラ台(取付ねじ付)
- ② グリップ
- ③ アーム
- ④ フック
- ⑤ 固定バンド
- ⑥ ハンドル
- ⑦ バランスウェイト
- ⑧ マグネット
- ⑨ キャスター(ストッパー付)



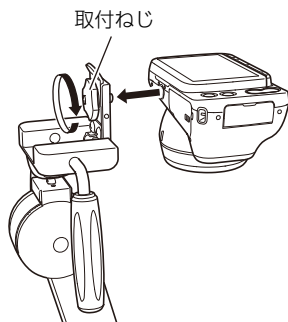
カメラスタンドにカメラを取り付ける

1. カメラ台にカメラを取り付ける

取付ねじを矢印の方向に回して、カメラを固定してください。

■ カメラの取付時の注意

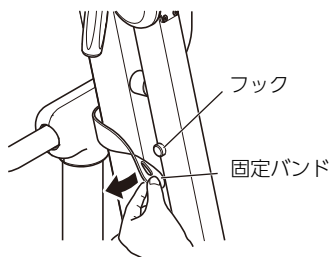
- ・ カメラスタンドは不安定な場所に置かないでください。
- ・ 使用場所ではキャスターのストッパーを必ずかけてください。
- ・ カメラを取り付ける際は、必ずマグネットおよび固定バンドでアームが固定されていることを確認してください。意図せずアームが開き、けがをするおそれがあります。
- ・ 取付ねじが確実に締まっていることをお確かめください。
- ・ コルポカメラ(DZ-C100)以外では使用しないでください。
- ・ カメラの取付方向をお確かめください。



カメラの位置を調整する

- ・アームを操作する際は、手指や腕、足などを挟まないようにご注意ください。
- ・使用前にカメラの取付ねじが緩んでいないかもう一度確認してください。

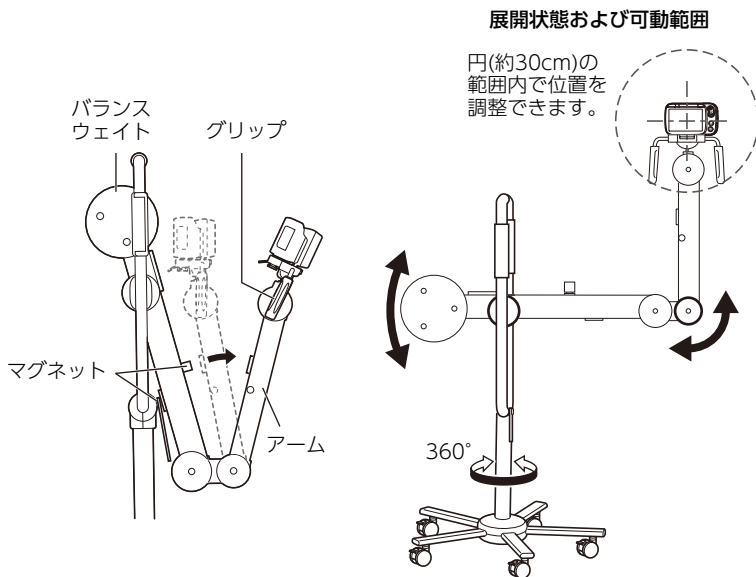
1. 固定バンドをフックから外して開く



2. グリップを持って、アームをマグネットから外し、開く

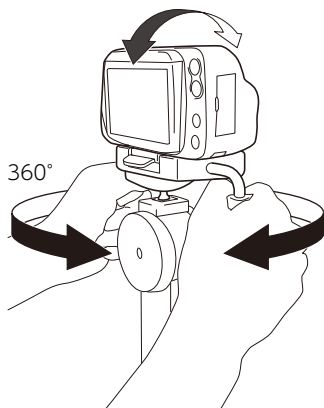
2つあるマグネットを外し、アームを開いてください。

アームやバランスウェイトが周囲のものにぶつからないように注意して、ゆっくり操作してください。



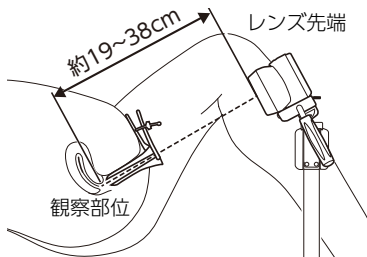
3. グリップを持ってカメラの位置を調整する

液晶モニターを見ながらカメラの位置を決めてください。



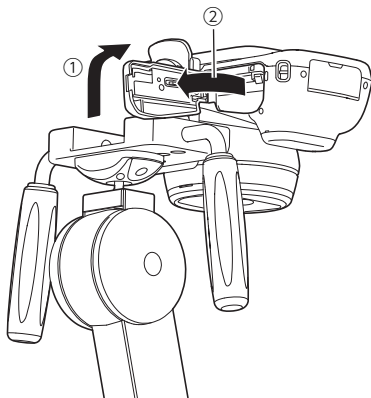
■ 位置の調整時の注意

- レンズ先端から観察部位までの距離は約19~38cmです。
- カメラスタンドに取り付けた状態で充電する際は、本体充電用ACアダプターのコードが十分に引っ掛からないようにご注意ください。



■ カメラスタンド使用時のリチウムイオン充電電池・メモリーカードの抜き差し方法

カメラをカメラスタンドに取り付けたまま、リチウムイオン充電電池やメモリーカードの抜き差しが可能です。



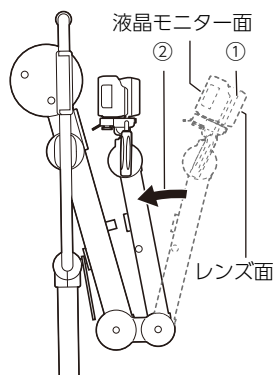
収納時のご注意

1. グリップを持って、アームを閉じる

アームを閉じる際は、手指や腕、足などを挟まないようにご注意ください。

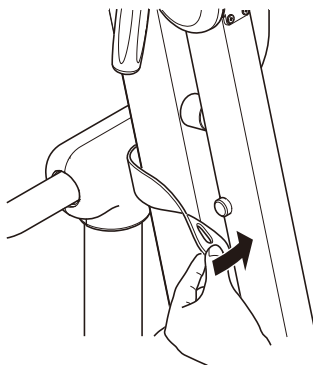
以下のように操作してください。

- ① レンズがアームに当たらないようにレンズ面を外側に向ける
- ② アームをカメラスタンド側に倒す



2. マグネットが、反対側のアームに付いていることを確認し、固定バンドをフックに付ける

- ・ 固定バンドは左右どちら側のフックにも付けることができます。



3. カメラ台からカメラを取り外す

カメラ台からカメラを取り外す際は、必ずマグネットおよび固定バンドでアームが固定されていることを確認してください。意図せずアームが開き、けがをするおそれがあります。

4. ハンドルを持って移動する

- ・ 収納場所ではキャスターのストッパーを必ずかけてください。

■ カメラ台にカメラを取り付けたまま収納する場合

- ・ レンズ面が外側に向いていることを確認してください。
- ・ 必ずレンズキャップを取り付けてください。
- ・ 次回使用前にカメラの取付ねじが緩んでいないか必ず確認してください。
- ・ 移動時はカメラやスタンドが他の物にぶつからないようご注意ください。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- ・保存できる映像の数量については90ページをご覧ください。

■ 使用できるメモリーカードの種類

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード



- ・使用できるメモリーカードの種類は2024年10月現在のものです。
- ・SD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、SDメモリーカードが2GB以下、SDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、SDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。
上記のメモリーカードであっても容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

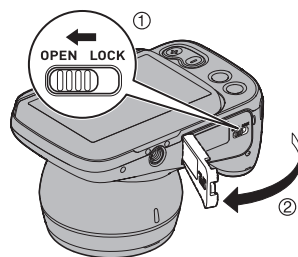
当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D'z IMAGE STOREの「サポート」(https://dz-image-store.casio.jp/support/ob_gyn/)にある「Q&A」をご覧ください。か、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にご連絡ください。

■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録に時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断したりする場合があります。

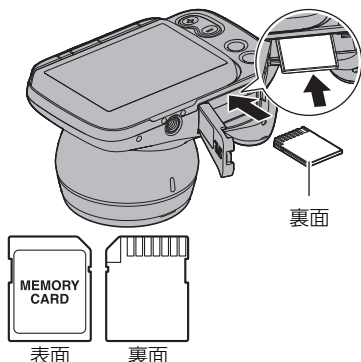
メモリーカードを入れる

1. 【○】電源ボタンを押して電源を切り、電池カバーを開ける

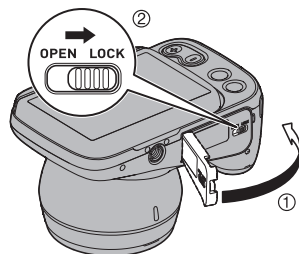


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面を上(液晶モニター側)にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 電池カバーを閉める



重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(22ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

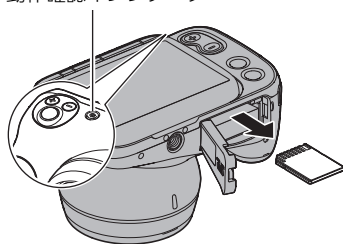
メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。

重要

- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。
- 【①】電源ボタンを押して電源を切ったとき、動作確認インジケーターが緑色に点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊したりする恐れがあります。

動作確認インジケーター



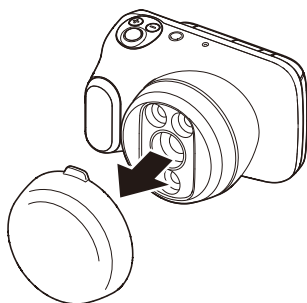
参考

- カメラをカメラスタンドに取り付けたままでもメモリーカードを交換することができます。

電源を入れる／切る

■ レンズキャップを外す

撮影の前にレンズキャップを取り外してください。
レンズキャップを取り外す際は、レンズキャップの
取手部分を持ち、ゆっくり外してください。
撮影が終わったら必ずレンズキャップを付けてくだ
さい。



■ 電源を入れる

【⏻】電源ボタンを押し、LEDの準備が整うと、撮影モード
になり、撮影できる状態になります。

この状態で、【▶】再生ボタンを押すと再生モードにな
り、撮影した静止画や動画を見ることができます(32、
46ページ)。

- 【▶】再生ボタンを押すと、再生モードで電源が入り
ます。
- 再生モード中に【▶】再生ボタンまたはシャッター
ボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。

【⏻】電源ボタン



【▶】再生ボタン

■ 電源を切る

【⏻】電源ボタンを押します。

- スリープ機能(17ページ)、オートパワーオフ機能(17ページ)により、一定時間操作しな
いと、自動的に液晶モニターが消灯したり電源が切れたりします。

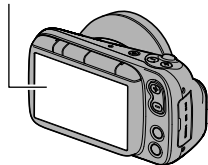
参考

- 液晶モニターを開くことで、電源を入れることもできます。
- LEDの準備中は撮影できません。画面のメッセージが消えるまでお待ちください。

タッチパネルを使う

本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。指を使用して、さまざまな操作ができます。

液晶モニター



タップ

画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



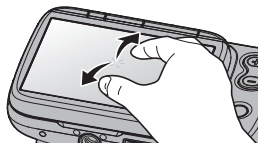
スワイプ

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。



ピンチアウト

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。
画像を拡大して表示します。



ピンチイン

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。
画像を縮小して表示します。



重要

- 先がとがったものや硬いもので押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- タッチパネルは爪では認識しづらいので、指の腹で操作してください。

参考

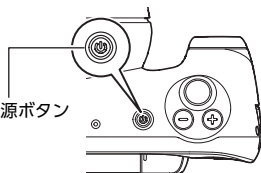
- 市販の液晶保護シートを貼ると、操作が感知されにくくなります。

最初に電源を入れたら表示言語と日時を設定する

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは

表示言語と日時を設定する画面が表示されます。日時を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

【○】電源ボタン

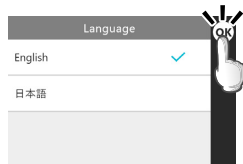


1. 【○】電源ボタンを押して電源を入れる

2. 表示言語を設定する

画面に表示される言語 (Englishまたは日本語) を選び、**OK**をタップします。

本書は、表示言語を「日本語」に設定した状態で説明しています。



表示言語は、設定し直すことができます。65ページをご覧ください。

3. 日付と時刻を合わせる

年、月、日、時、分、am(pm)/24hをタップし、上下スワイプで値を変更します。



4. 日付／時刻合わせが終了したら、**OK**をタップして設定を終了する



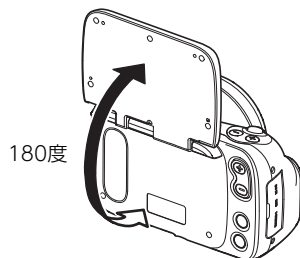
日付／時刻を間違えて設定した場合、上記の手順では直せません。65ページをご覧ください。

参考

- 時計を設定しても、すぐに電池を抜くと、設定した時刻がリセットされる場合があります。時計を設定後、24時間以上は電池を入れたままにしておいてください。

液晶モニターの角度調整

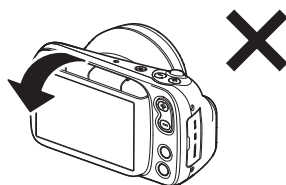
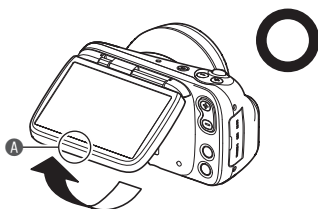
本機の液晶モニターは、上部を軸に180度開きます。



■ 液晶モニターを開ける

図のように液晶モニター下部の中央部 **A** に指をかけて上に持ち上げながら開けてください。

- 液晶モニターの上部からは開きません。必ず図のように下部から開けてください。



★ 重要

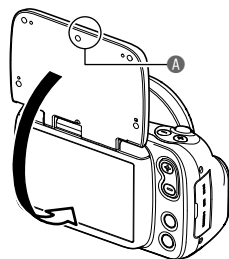
- 液晶モニターを開くとカメラの電源が入ります。
- 液晶モニターを閉じるときは、液晶モニターの上部または下部に指などをはさまないようにご注意ください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- 液晶モニターを180度以上開かないでください。液晶モニターが破損することがあります。

■ 参考

- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

■ 液晶モニターを閉じる

図のように液晶モニター下部の中央部 **A** を持って、閉じてください。



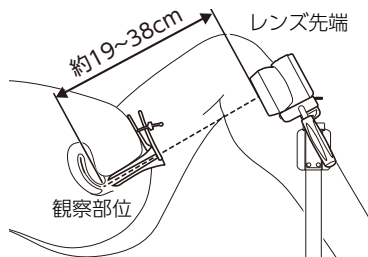
正しい観察・撮影のしかた

- ・ 正しく観察・撮影するために、設置や操作を正しく行ってください。
- ・ カメラスタンド(別売品)をご使用ください。

■ カメラスタンド(別売品)にカメラを設置する

カメラをカメラスタンドに正しく取り付けてください(18ページ)。

開孔器を腔内に挿入し、アームを調整して、レンズ先端から観察部位までの距離が約19~38cmになるように設置してください。



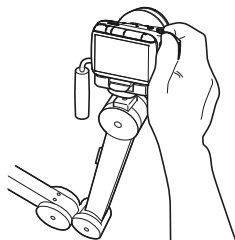
参考

- ・ 観察・撮影時は必ずカメラスタンドのキャスターのストッパーをかけてください。
- ・ カメラ台にカメラを取り付けたまま収納する際は、レンズ面が外側を向くようにして、レンズがアームに当たらないようにご注意ください(21ページ)。
- ・ その他、カメラスタンドについての詳細は18ページの「カメラスタンド(別売品)を準備する」をご覧ください。

■ 観察・撮影する

「シャッターボタンを押す」または「画面上の $\odot$ (撮影) をタップする」ことで撮影をすることができます。

ブレのないきれいな画像が表示されるように、カメラスタンドを使ってカメラを固定してください。



参考

- ・ シャッターボタンを押して撮影する場合の詳細は30ページの「シャッターボタンを押して撮影する」をご覧ください。
- ・ 画面上の $\odot$ (撮影) をタップして撮影する場合の詳細は31ページの「タッチパネルを使って撮影する (タッチフォーカス)」をご覧ください。

撮影モードを設定する

本機には3つの撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。

📷CONT、📷SINGLE、🎬MOVIE

- 各モードの詳細は「撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する」(37ページ)をご覧ください。

1. 【🔌】電源ボタンを押して電源を入れる

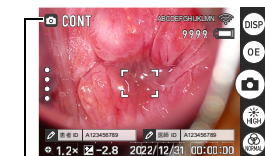
撮影モードになり、カメラが撮影できる状態になります。

- 再生モードになっているときは、【▶】再生ボタンまたはシャッターボタンを押してください。

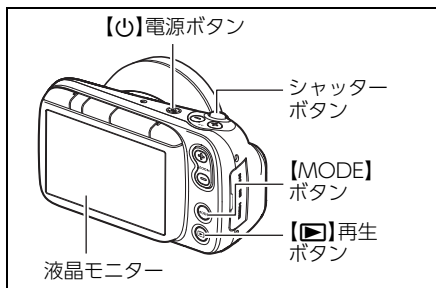
2. 【MODE】ボタンを押して撮影モードを選択する

【MODE】ボタンを押すたびに、以下の順で切り替わります。

📷CONT→📷SINGLE→🎬MOVIE



撮影モードの種類

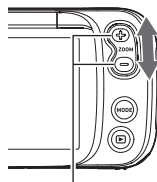


シャッターボタンを押して撮影する

1. カメラを観察部位に向ける

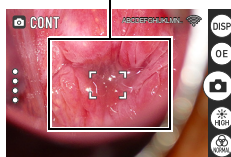
- 液晶モニターの観察倍率は、レンズ先端から観察部位までの距離が19cmで約1.5倍、30cmで約1.0倍、38cmで約0.8倍です。
- デジタルズームは8倍までズームできます。

フォーカスフレームの移動は31ページ、ズームの詳細は40ページをご覧ください。



ズームボタン

フォーカスフレーム
(通常の状態)



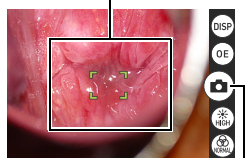
2. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

ピントが合うと動作確認インジケータとフォーカスフレームが緑になります。

動作確認
インジケータ

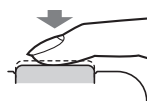


フォーカスフレーム
(ピントが合った状態)



撮影アイコン

半押し 軽く押して止まる
ところまで

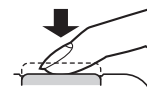


シャッターボタンを半押しすると、カメラを向けている被写体に対して自動的に露出やピントを合わせます。どのくらいの力で押し込むと半押しになるかを覚えるのが、きれいな静止画を撮影するコツです。撮影アイコンをタップすることでも撮影できます。

3. カメラを固定したままシャッターボタンを最後まで押し込む

静止画が撮影されます。

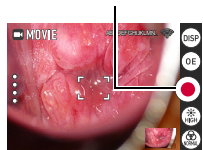
全押し 最後まで



動画を撮影するには

●をタップすると動画の撮影が開始されます。
●をタップすると終了します。
動画撮影の詳細は39ページをご覧ください。

● (動画撮影開始)



- をタップして、撮影することもできます。詳細は31ページをご覧ください。

■ ピントが合っていない場合

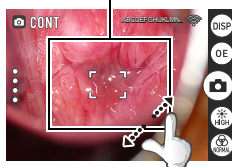
フォーカスフレームが赤になっているときは、ピントが合っていない。もう一度カメラを被写体に向けてピントを合わせてみてください。

タッチパネルを使って撮影する（タッチフォーカス）

1. カメラを観察部位に向ける

- フォーカスフレームを中心にズームの倍率を変更できます。
詳細は40ページをご覧ください。

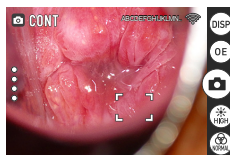
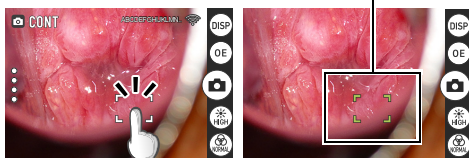
フォーカスフレーム
（通常の状態）



2. 画面のフォーカスしたい位置をタッチする

タッチした位置に合わせて、フォーカスフレームが移動します。
ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色になります。

フォーカスフレーム
（ピントが合った状態）



一定時間経過するとフォーカスフレームは白色になりますが、撮影時（手順3参照）に再度ピント合わせ操作が自動的に行われます。

3. 画面のⓈ（撮影）をタッチする

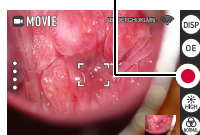
静止画が撮影されます。



動画を撮影するには

●をタップすると動画の撮影が開始されます。
●をタップすると終了します。
動画撮影の詳細は39ページをご覧ください。

●（動画撮影開始）



■ ピントが合っていない場合

フォーカスフレームが赤になっているときは、ピントが合っていない。もう一度カメラを被写体に向けてピントを合わせてみてください。

参考

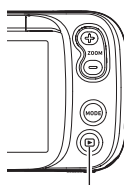
- タッチフォーカスは画面の端では無効となります。

撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画を液晶モニターで見ることができます。

1. 【再生】再生ボタンを押して、再生モードにする

- 記録されている静止画または動画の1つが液晶モニターに表示されます。
- 表示されている静止画または動画についての情報も表示されます(11ページ)。
- 情報表示を消して、静止画または動画だけを見ることもできます(12ページ)。
- 画像をピンチアウトする、またはズームボタン(+)を押すと画像を拡大して表示します(46ページ)。



【再生】再生ボタン



2. スワイプ操作で前後の画像に切り替える

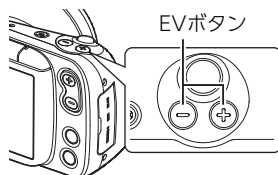


または



または

- EVボタンで前後の画像に切り替えることもできます。
- 動画を再生するときは、動画ファイルを表示して画面中央の▶をタップします。



参考

- 再生モード時にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに切り替わります。
- LEDの準備中は撮影できません。画面のメッセージが消えるまでお待ちください。

撮影した静止画や動画を消去する

撮影した静止画や動画を消去することにより残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。

- **(ごみ箱)** をタップして、簡単にファイルを消去することができます。

■ 1ファイルずつ消去する

1. スワイプ操作で消去したいファイルを表示させる

2. **(ごみ箱)** をタップする

3. **(YES)** をタップする

- 続けて別のファイルを消去する場合は手順1～3を繰り返します。
- 消去をやめるときは、次のように操作します。
 - **(NO)** をタップ: 再生画面に戻ります。
 - **[▶]** 再生ボタンまたはシャッターボタン: 撮影画面に戻ります。

■ 選択したファイルを消去する

1. **(サムネイル表示切替)** をタップして、画像一覧を表示する

2. **(ごみ箱)** をタップする

- 消去メニューが表示されます。

3. “ファイル選択”をタップする

4. 消去したいファイルをタップして選択する

- 選択したファイルの○にチェックが入ります。

5. 消去したいファイルをすべて選択したら、**(ごみ箱)** をタップする

- 確認メッセージ“選択したファイル○枚を消去しますか？”が表示されます。



6. **(YES)** をタップする

- 選択したファイルは消去されます。
- 消去をやめるには、確認メッセージで**(NO)** をタップしてください。

■ すべてのファイルを消去する

1.  (サムネイル表示切替) をタップして、画像一覧を表示する

2.  (ごみ箱) をタップする

- ・ 消去メニューが表示されます。
-

3. “全ファイル”をタップする

- ・ 確認メッセージ“全ファイルを消去しますか？”が表示されます。
-

4.  をタップする

- すべてのファイルは消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

■ ごみ箱の中のファイルを復元する/消去する

ごみ箱機能をON(67ページ)にすると、削除した画像は一旦ごみ箱に移動します。ごみ箱の中のファイルを復元、または消去することができます。

選択したファイルを元に戻す場合

1.  (サムネイル表示切替) をタップして、画像一覧を表示する

2.  (ごみ箱) をタップする

- ・ 消去メニューが表示されます。
-

3. “ごみ箱確認”をタップする

- ・ ごみ箱に移動したファイルを表示します。
-

4. 元に戻したいファイルをタップして選択する

- ・ 選択したファイルの○にチェックが入ります。
-

5.  をタップする

- ・ 選択したファイルは再生画面に復元されます。

選択したファイルを消去する場合

1. (サムネイル表示切替) をタップして、画像一覧を表示する
2. (ごみ箱) をタップする
 - ・ 消去メニューが表示されます。
3. “ごみ箱確認”をタップする
 - ・ ごみ箱に移動したファイルを表示します。

4. ごみ箱から消去したいファイルをタップして選択する
 - ・ 選択したファイルの○にチェックが入ります。



5. をタップする
 - ・ 確認メッセージ“選択したファイル○枚を消去しますか？”が表示されます。

6. をタップする
 - ・ 選択したファイルは完全に消去されます。

■ ごみ箱を空にする

1. (サムネイル表示切替) をタップして、画像一覧を表示する
2. (ごみ箱) をタップする
 - ・ 消去メニューが表示されます。
3. “ごみ箱を空にする”をタップする
 - ・ 確認メッセージ“ごみ箱のファイルを完全に削除しますか？”が表示されます。
4. をタップする
 - ・ すべてのファイルは完全に消去されます。

操作について

- 動作確認インジケーターが緑に点滅しているときに電池カバーを開けないでください。撮影した画像が正しく保存されない、記録されている画像が壊れてしまう、カメラが正常に動作しなくなる、などの原因になります。

■ オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体や条件では、ピントが正確に合わないことがあります。
 - コントラストが低い被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 手ブレをしているとき
 - 撮影距離の範囲外の被写体
 - レンズが汚れているとき

撮影する

撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する

本機には3つの撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。

【MODE】ボタンを押して、(①→②→③)を順に切り替えて選択し、LEDライトの種類を選択してください。

LEDライトの偏光で観察、撮影する場合は、設定画面で偏光「ON」にします。(66ページ)
LEDライトの選択は「LEDライトの種類を切り替えて撮影する」(43ページ)をご確認ください。

【MODE】ボタン	設定内容
①  CONT	ワンシャッターで、同一画角の通常光／グリーン光／偏光を連続撮影するときに使用します。
②  SINGLE	静止画を1枚撮影するときに使用します。
③  MOVIE	動画を撮影するときに使用します。

1. 【】電源ボタンを押して電源を入れ、撮影モードにする

- ・再生モードの場合は、【】再生ボタンまたはシャッターボタンを押して、撮影モードに切り替えてください。

2. 【MODE】ボタンを押して撮影モードを選択する

【MODE】ボタンを押すたびに、以下の順で切り替わります。

 CONT →  SINGLE →  MOVIE

CONTモードで撮影する (CONT)

ワンシャッターで、同じ画角の3タイプの静止画を連続で撮影します。

- ・同時に撮影する3タイプの画像

 通常光画像	通常光のLEDライトで照射した画像
 グリーン光画像	グリーン光のLEDライトで照射した画像 (血管強調の観察、撮影時)
 偏光画像	偏光のLEDライトで照射した画像 (被写体表面に発生する光の乱反射を防いだ観察、撮影時)

参考

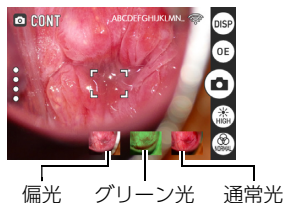
- ・偏光画像を撮影するには、偏光設定をONにする必要があります。偏光設定については、「偏光のON/OFF設定」(66ページ)をご覧ください。

1. 【MODE】ボタンで“ CONT”にする

2. カメラを観察部位に向け、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

3. カメラを固定したままシャッターボタンを最後まで押し込む

- 3タイプの静止画が撮影されます。
- をタップして、撮影することもできます。



SINGLEモードで撮影する (SINGLE)

撮影の際は、静止画を1枚撮影します。LEDライト切替アイコンで選択したLEDライトが適用されます。

1. 【MODE】ボタンでSINGLEにする

2. カメラを観察部位に向け、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

3. カメラを固定したままシャッターボタンを最後まで押し込む

- 静止画が撮影されます。
- をタップして、撮影することもできます。

参考

- LEDライトの切り替えについては43ページをご覧ください。
- 偏光画像を撮影するには、偏光設定をONにする必要があります。偏光設定については、「偏光のON/OFF設定」(66ページ)をご覧ください。

MOVIEモードで撮影する (MOVIE)

動画を撮影します。LEDライト切替アイコンで選択したLEDライトが適用されます。

1. 【MODE】ボタンで“MOVIE”にする

2. カメラを観察部位に向け、をタップする

- 動画撮影を開始します。
- シャッターボタンを最後まで押し込んで撮影することもできます。

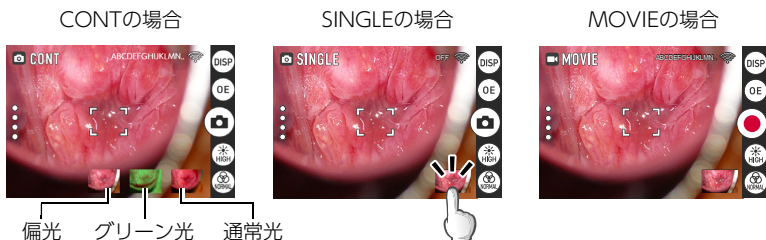
3. をタップして撮影を終了する

参考

- 動画の最大撮影時間は9分59秒までです。撮影を続ける場合は再度をタップし録画を再開してください。

撮影直後の画像を表示する

撮影後、画面の右下に撮影した静止画や動画のサムネイルが表示されます。



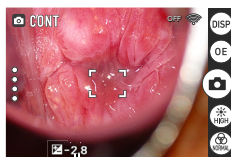
サムネイルをタップして、再生画像を表示させます。

撮影設定について

画像の明るさを補正する(露出補正)

撮影時の明るさに応じて、露出補正(EV値)を手動で補正できます。

- 露出補正: -2.0EV~+2.0EV
- 補正単位:0.1EV



露出補正

1. EVボタンを押して露出補正する

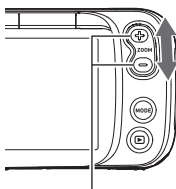
- ・ 画像を明るくしたいときはEVボタンの【EV+】を押してください。
- ・ 画像を暗くしたいときはEVボタンの【EV-】を押してください。

デジタルズームで撮影する

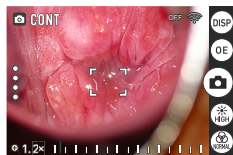
デジタルズーム(フォーカスフレームを中心にデジタル処理で拡大する方法)で約8倍までのズームができます。

1. 撮影モードにして、ズームボタンまたはピンチ操作で縮小・拡大する

- ・ フォーカスフレームを中心に縮小・拡大します。フォーカスフレームを移動させるには31ページの「タッチパネルを使って撮影する(タッチフォーカス)」をご覧ください。



ズームボタン

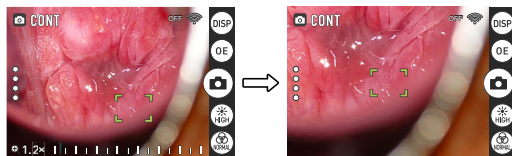


ピンチイン・ピンチアウト

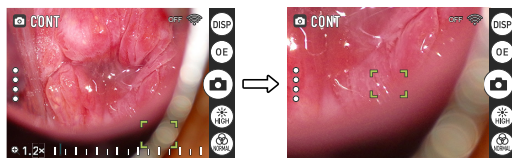


2. をタップする、またはシャッターボタンを押して撮影する

- 動画撮影中でもズーム操作ができます。
- フォーカスフレームを任意の位置に移動させた場合でも、基本的にフォーカスフレームが中心になるように縮小・拡大します。



ただし、フォーカスフレームをタッチ可能範囲の境界近くに移動させた場合は、できるだけフォーカスフレームが中心になるように縮小・拡大します。



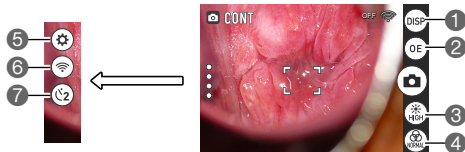
ズーム時のフォーカスフレームの動きは、以下のURLまたは右記のQRコードからご覧いただけます。

https://dz-image-store.casio.jp/support/ob_gyn/



より良い撮影のための設定

本機では、画面アイコンを操作してさまざまな設定ができます。



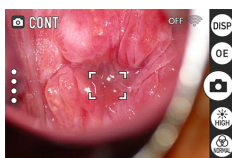
- ① 情報表示切替アイコン
- ② 露出モード切替アイコン
- ③ 明るさ切替アイコン
- ④ LEDライト切替アイコン
- ⑤ 設定アイコン
- ⑥ 無線接続切替アイコン
- ⑦ セルフタイマーアイコン

撮影情報を表示する

[DISP]をタップして、撮影情報を表示します。

[DISP]をタップするたびに、表示が切り替わります。

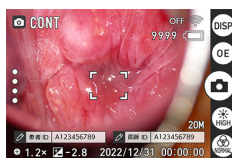
通常表示モード



アイコン非表示モード



全アイコン表示モード



- ・MOVIEモードで撮影中は、専用の表示に固定されます。



参考

- ・アイコン非表示モードでも、電池残量が少なくなると電池残量警告は表示されます。
(電池残量表示の詳細は17ページをご覧ください。)

露出モードを切り替えて撮影する

露出を切り替えるには、3つの方法があります。

① ④⑤ 最適露出を使って撮影する

初期設定の④⑤最適露出(Optimal Exposure)モードでは、子宮頸部の撮影に最適な露出に固定されます。最適露出の効果が最も高い距離は下記のとおりです。観察部位から離れて撮影するときはLEDライトを明るく、観察部位に近づいて撮影するときはLEDライトを暗く調整してください。

- LEDライトの明るさ(HIGH):約30cm
- LEDライトの明るさ(MID):約25cm
- LEDライトの明るさ(LOW):約20cm

参考

- カメラの位置の調整については19ページをご覧ください。
- LEDライトの明るさの切り替えについては43ページをご覧ください。

② 明るさを補正して撮影する

最適露出モードで距離やLEDライトの調整を行ってもまだ画面が暗すぎる・明るすぎるときは、明るさを補正(露出補正)してください。

- 画像を明るくしたいときはEVボタンの【EV+】を押してください。
- 画像を暗くしたいときはEVボタンの【EV-】を押してください。

参考

- 露出補正については40ページをご覧ください。

③ ④⑤ オート露出を使って撮影する

上記の操作を行ってもまだ画面が暗すぎる・明るすぎるときは、④⑤をタップして④⑤に切り替えてください。

参考

- 電源ON/OFF 時やリセット時は初期設定(最適露出)に戻ります。

LEDライトの明るさを切り替えて撮影する

④⑤をタップしてLEDライトの明るさを切り替えます。

以下の順で切り替わります。

- ④⑤ HIGH (初期設定) → ④⑤ MID → ④⑤ LOW

LEDライトの種類を切り替えて撮影する

④⑤をタップして、通常光、グリーン光、偏光のLEDライトの種類を切り替えます。

以下の順で切り替わります。

- ④⑤ 通常光 (初期設定) → ④⑤ グリーン光 → ④⑤ 偏光 (設定が有効な場合)

セルフタイマーを使う

Ⓢをタップして、セルフタイマーを有効にします。

📷をタップしてから、またはシャッターボタンを押してから2秒後に静止画を撮影することができます。

参考

- MOVIEモードでは、設定の切り替えはできません。

通常光および偏光の色味を調整する（ホワイトバランス）

通常光および偏光で観察、撮影する静止画および動画のホワイトバランスを調整できます。設定操作は可能ですが、グリーン光での観察、撮影時の静止画および動画には、ホワイトバランスの調整は反映されません。

1. 画面左端の  (呼び出し) をタップする

2. ⚙️ (設定) をタップする

設定メニューが表示されます。

3. “ホワイトバランス”をタップする

ホワイトバランスの設定項目が表示されます。

設定項目	設定内容
オート	自動的にホワイトバランスを調整
固定	コルボスコピーに最適化した値に固定

4. 設定項目をタップして選択する

5. OKをタップして、ホワイトバランスの設定を終了する

グリーン光の色味を調整する（グリーン撮影調整）

グリーン光で観察、撮影する静止画および動画の色味を調整できます。

設定操作は可能ですが、通常光、偏光での観察、撮影時の静止画および動画には、グリーン光の調整は反映されません。

1. 画面左端の  (呼び出し) をタップする

2.  (設定) をタップする

設定メニューが表示されます。

3. “グリーン撮影調整”をタップする

グリーン撮影調整の設定項目が表示されます。

血管の強調具合を調整することができます。

観察部位の血管の量によって強調具合が変わります。

実際に観察部位を観察しながら見やすい色味に調整してください。

+: グリーン調整値を+側に1単位調整します。

-: グリーン調整値を-側に1単位調整します。

4. 設定項目をタップして選択する

5.  をタップして、グリーン撮影調整の設定を終了する

静止画や動画を再生する

撮影した静止画や動画を見る

操作方法については32ページをご覧ください。

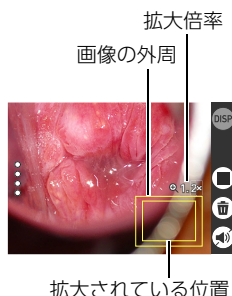
画像をデジタルズームで拡大表示する

1. 再生モードにして、スワイプ操作で再生したい画像を表示させる

2. 画像をピンチアウトする、またはズームボタン(+)を押して、画像を拡大表示させる

スワイプして、拡大表示される位置を変えることができます。画像をピンチインする、またはズームボタン(-)を押すと、縮小表示されます。

- ・液晶モニターに情報を表示しているときは、画像の右下に拡大されている位置が表示されます。
- ・最大8倍まで拡大できますが、画像のサイズによっては、8倍まで拡大できないことがあります。



画像を一覧表示する(サムネイル表示)

1. 再生モードにして⌘(サムネイル表示切替)をタップする

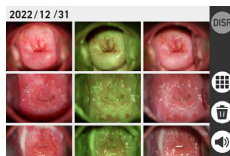
⌘(サムネイル表示切替)をタップして、サムネイル表示の列(2列、3列、4列)の数を切り替えることができます。

1枚表示で見たいときは、見たい画像をタップします。

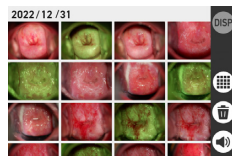
2列(4枚)表示



3列(9枚)表示



4列(16枚)表示



再生時のその他の機能

ここでは再生モードで操作や設定ができる機能について説明します。

いろいろな再生機能や設定を利用する

医師ID、患者IDを初期化する

撮影した画像に登録されている医師ID、患者IDを初期化することができます。

1. 医師ID、または患者IDを初期化したい画像を表示する

2. をタップして撮影情報表示させる

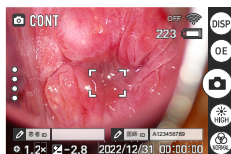
3. 医師ID、または患者IDをタップする

“医師IDを初期化しますか？”または“患者IDを初期化しますか？”のメッセージが表示されます。



4. をタップする

初期化したIDが空欄になります。



動画再生時の音量を設定する

1. 動画を表示する

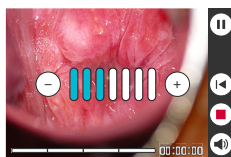
2. をタップする

音量設定が表示されます。



3. 画面に表示される または をタップして音量を設定する

 で音量なし(ミュート)にすると  が  になります。



外部モニターで画像を見る

本体で再生している静止画や動画を市販の外部モニターに映すことができます。

外部モニターで見ながら撮影する

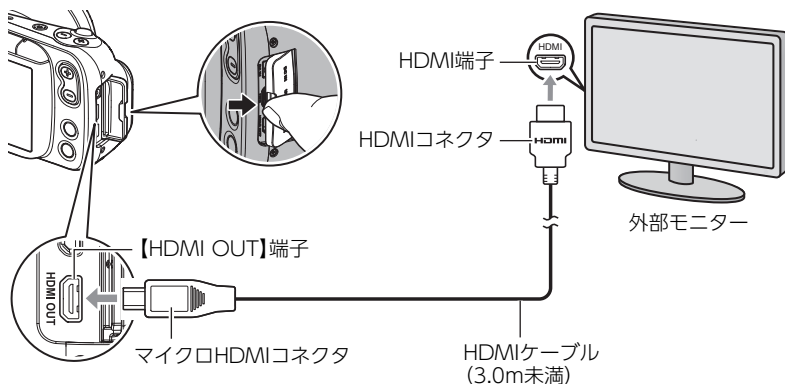
液晶モニターに表示されている画像を外部モニター(市販品)に映すことができます。

1. フォーカスを合わせたい位置にフォーカスフレームを移動させる

- HDMIケーブル(市販品)接続中はタッチパネル操作ができないため、あらかじめ特に注目したい位置にフォーカスフレームを移動させてください。
フォーカスフレームのタッチ操作は31ページをご覧ください。

2. 市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターをつなぐ

- HDMIケーブル(市販品)は右記のロゴのあるものをお使いください。
- 外部モニターは、外部モニターの取扱説明書に従って設定をしてから、ケーブルの抜き差しを行ってください。



- HDMIケーブルは、3.0m未満で、ハイスピード対応(Ver1.4)のシールド構造を採用している製品をご使用ください。
- 外部モニターは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CE、UKCAに適合している製品をご使用ください。
- 指定した条件以外の製品を使用した場合、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
- 外部モニターは、患者より1.5m以上離れた場所でご使用ください。
- HDMIケーブル接続中はタッチパネルの操作はできません。
- HDMIケーブル接続中でも、シャッターボタンを押して撮影するなど、ボタン操作は可能です。

カメラとパソコンを接続する(無線接続)

本機はWi-Fi(無線LAN)接続機能を搭載しています。

本機とパソコンを無線で接続すると、撮影した画像をパソコンに送信できます。操作にはパソコンに画像管理ソフトのD'z IMAGE Viewer Cをインストールする必要があります。

重要

- パソコンのWindows OSバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がパソコンに保存されないことがあります。パソコンで画像を受信したあとは、パソコンで保存されていることを確認してください。
- 本機以外のカメラで撮影した画像は、送信できません。
- 本機で無線機能付きメモリーカードを使用すると、不具合が生じる可能性があります。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。

画像管理ソフトについて

画像管理ソフトD'z IMAGE Viewer Cは、下記のWebサイトからダウンロードしてください。

動作環境についても、下記のWebサイトでご確認いただけます。

https://dz-image-store.casio.jp/dl/ob_gyn/#viewer

ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

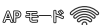
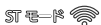
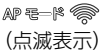
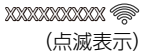
- ソフトの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。
- 画像管理ソフトのバージョンを確認し、バージョンが古い場合は更新してください。
- 画像管理ソフトをインストールする前に、PCのセキュリティソフトが最新の状態になっていることを確認してください。
- ウイルス感染の恐れがあるため、作成者が不明なソフトウェアはインストールしないでください。
また、自身が管理していないソフトウェアは起動しないでください。
- ウイルス感染の恐れがあるため、所有者が不明もしくは自身が管理していないソフトウェアはインストールしないでください。

無線モードについて

 (無線接続切替) をタップして、無線接続のオンとオフを切り替えます。

■ 無線接続時に画面に表示されるアイコンについて

カメラとパソコンの無線接続設定(64ページ)を行うと、カメラの画面に通信状態を示すアイコンが表示されます。

	無線接続がオフになっています。
	無線接続がオンになっていて、APモードで接続中です。
	無線接続がオンで、STATIONモードになっていますが、接続されていません。
	無線接続がオンになっていて、STATIONモードで接続中です。 左の表示の「XXXXXXXX」の部分には、接続したSSIDを表示します。
	無線接続がオンになっていて、APモードで画像データを送信中です。
	無線接続がオンになっていて、STATIONモードで画像データを送信中です。左の表示の「XXXXXXXX」の部分には、接続したSSIDを表示します。

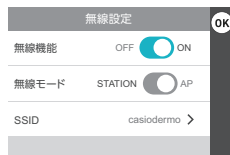
最初に無線接続の設定をする

カメラとパソコンを無線で接続するときは、無線接続設定が必要です。この操作は初回のみが必要です。

APモード	カメラとパソコンを無線接続します。
STATIONモード	カメラと無線LANルーターを接続します。
SSID	DZ-C100（初期設定値、APモード時に使用します）
パスワード	00000000（初期設定値、APモード時に使用します） ・ 個人情報保護のため、変更をおすすめします（55ページ）。

■ APモードで無線接続する場合

1. 画面左端の （呼び出し）をタップする
2. （設定）をタップする
3. “無線設定”をタップする
4. “無線機能”を“ON”にする
5. “無線モード”で“AP”を選択する



パソコン側の操作については下記のWebサイトにある「Q&A」をご覧ください。

https://dz-image-store.casio.jp/support/ob_gyn/

■ STATIONモードで無線接続する場合

1. 画面左端の  (呼び出し) をタップする

2.  (設定) をタップする

3. “無線設定”をタップする

4. “無線機能”を“ON”にする

5. “無線モード”で“STATION”を選択する

6. “SSID”をタップする



7. STATIONモード設定画面から、接続したいSSIDを選択する

接続したいSSID名が表示されている場合

1) 接続したいルーターのSSIDを選択して、ルーターのパスワードを入力する

2)  をタップする



接続したいSSID名が表示されていない場合

ステルス設定が有効になっている場合、SSIDは表示されません。ルーターの設定をご確認の上、以下の手順で設定してください。

1) “+ネットワークを追加”をタップする

2) SSID名を入力する

3) ルーターの認証方式を選択する

設定しない	パスワードが設定されていない場合
WEP	WEP方式の場合
WPA/WPA2PSK	WPA-PSK/WPA2-PSK方式の場合

4) ルーターのIPアドレス設定を選択する

DHCP	IPアドレスを自動的に割り当てている場合
固定	IPアドレスを手動で入力する場合 入力内容：固定IPアドレス、ゲートウェイアドレス、ネットワークプレフィックス長

5)  をタップする

STATIONモード設定画面に、追加したSSID名が表示されます。

パソコン側の操作については下記のWebサイトにある「Q&A」をご覧ください。

https://dz-image-store.casio.jp/support/ob_gyn/

画像をパソコンに送信する（自動転送）

カメラの無線接続機能と画像管理ソフト“D'z IMAGE Viewer C”を使って、撮影した画像をパソコンへ送信します。

1. パソコン画面上の“D'z IMAGE Viewer C”のをダブルクリックする

2. 起動画面から「自動転送OFF」をクリックする



「自動転送OFF」から「画像転送中」に切り替わると画像転送が開始されます。



画像の転送が完了すると、（更新）が表示されます。

3. （更新）をクリックする

“D'z IMAGE Viewer C”に画像が保存されます。



D'z IMAGE Viewer Cの詳細については下記のWebサイトをご覧ください。

https://dz-image-store.casio.jp/dl/ob_gyn/#dzimage_viewer

無線接続時のカメラのパスワードを変更する

カメラにパソコンを無線(APモード)で接続するとき使用するパスワードを変更できません。

個人情報保護のため、パスワードの変更をおすすめします。

重要

- 無線接続時のパスワードの変更は、無線接続を解除してから行ってください。

1. ⚙️(設定)をタップする

2. “無線設定”をタップする

3. “SSID”をタップして、パスワードの項目を表示する

4. “パスワード”をタップして、パスワード設定画面を表示する



5. パスワードを変更したら、OKをタップする

参考

- 無線接続時のパスワードを変更すると、パソコンとの接続が解除されます。再度無線接続設定を行ってください。
- パスワードは、未設定のまま、または8文字以上入力してください。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る 	• 手動でパソコンに保存して見る (USB接続) (56, 60ページ)。 • 無線LAN経由で自動的にパソコンに転送して見る (50ページ)。画像管理ソフトD's IMAGE Viewer Cのインストールが必要です。
動画を再生する 	• 動画を再生することができます (59, 61ページ)。

操作のしかたは、Windows/パソコンの場合とmacOSの場合で異なります。

- Windows/パソコンの場合→「Windows/パソコンを利用する」(56ページ)
- macOSの場合→「macOSを利用する」(60ページ)

Windowsパソコンを利用する

お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

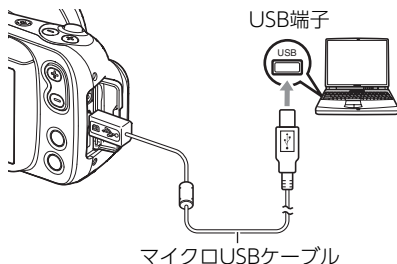
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、マイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- パソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CE、UKCAに適合している製品をご使用ください。指定した条件以外の製品を使用した場合、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
- パソコンは、患者より1.5m以上離れた場所でご使用ください。



本機にマイクロUSBケーブルは付属していません。

マイクロUSBケーブルは、パソコンへのデータ保存以外に本機と接続しないでください。

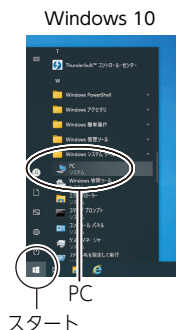
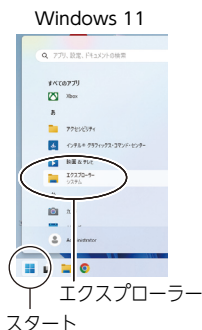
2. 【Q】電源ボタンを押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認インジケータが緑点灯に切り替わりますので、確認してください。なお、このとき液晶モニターは点灯しません。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 本機をマイクロUSBケーブルと接続した状態で、観察に使用しないでください。

3. Windows 10: “スタート”をクリック → “Windows システムツール”をクリック → “PC”をクリックする

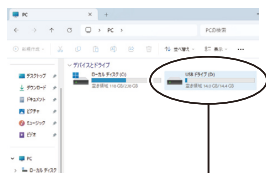
Windows 11: “スタート”をクリック → “すべてのアプリ” → “エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする



4. “USBドライブ”をダブルクリックする

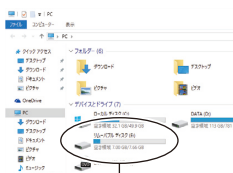
- ・メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「USBドライブ」として認識されています。

Windows 11



USBドライブ

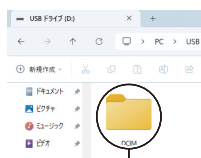
Windows 10



USBドライブ

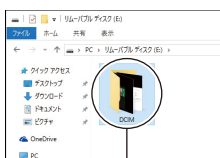
5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする

Windows 11



DCIM

Windows 10



DCIM

6. メニューの“コピー”をクリックする

7. Windows 11／Windows 10: “ドキュメント”をクリックする

- ・すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 11／Windows 10: “ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

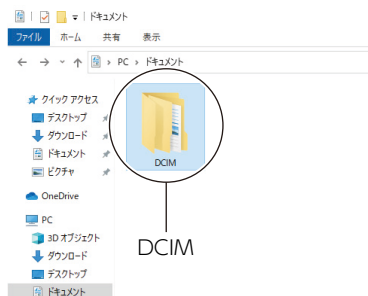
- ・コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

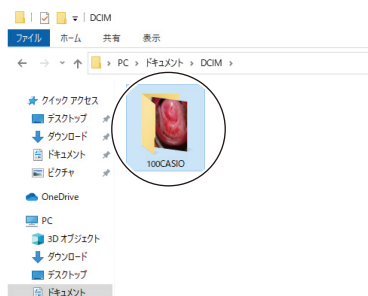
USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

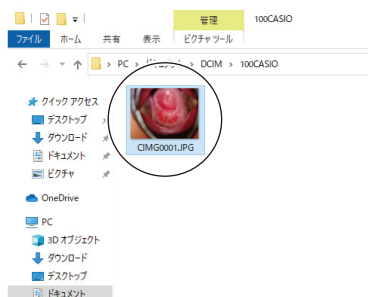


2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(63ページ)をご覧ください。



■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じる。または常駐ソフトを止める。

なお、パソコンで正しく動作しない場合でも、市販のHDMIケーブルを使ってHDMI端子を持ったテレビで再生できます。

macOSを利用する

お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、マイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する (57ページ)

- パソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CE、UKCAに適合している製品をご使用ください。
- パソコンは、患者より1.5m以上離れた場所でご使用ください。

本機にマイクロUSBケーブルは付属していません。

マイクロUSBケーブルは、パソコンへのデータ保存以外に本機と接続しないでください。

2. 【①】電源ボタンを押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認インジケータが緑点灯に切り替わりますので、確認してください。なお、このとき液晶モニターは点灯しません。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。macOSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 本機をマイクロUSBケーブルと接続した状態で、観察に使用しないでください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする

4. “DCIM”フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする



5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

動作確認インジケーターが赤く点滅していないのを確認してから、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(63ページ)をご覧ください。

■ 動画再生時のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのmacOSの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
 - 実行中の他のソフトウェアを終了する

なお、macOSで正しく動作しない場合でも、市販のHDMIケーブルを使ってHDMI端子を持ったテレビで再生できます。

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(63ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG └─┬─┘└─┬─┘ 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	“100CASIO”から“999CASIO”までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO └─┘ 連番(3桁)

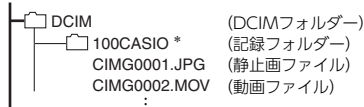
- 静止画／動画再生時に、画面の右上に表示されるフォルダー名－ファイル名は下記ののような意味となります。
例) 100-0023: “100CASIO”というフォルダーの23番目のファイル
- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに覚えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が同ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

その他の設定について

その他の設定を変更する

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも設定ができるメニュー項目について説明します。

1. 画面左端の  (呼び出し) をタップする
2.  (設定) をタップする
3. 設定したい項目を選び、設定内容を決定する



無線の設定をする

項目名: 無線設定

無線機能	ON/OFFを切り替えます。
無線モード	APモード：カメラとパソコンを無線接続します。 STATIONモード：カメラと無線LANルーターを無線接続します。
SSID	DZ-C100（初期設定値、APモード時に使用します）
パスワード	00000000（初期設定値、APモード時に使用します） ・ 個人情報保護のため、変更をおすすめします（55ページ）。

静止画のサイズを設定する

項目名: 静止画サイズ

設定サイズ: 20M、12M、5M

初期設定: 20M

液晶モニターの明るさを変える

項目名: 液晶設定

設定範囲: -2、-1、0、+1、+2

初期設定: 0

カメラの音を設定する

項目名: 操作音

起動音	ON:音が鳴ります。 OFF:音は鳴りません。 (初期設定:OFF)
ハーフシャッター	
シャッター	
操作音	
操作音量	操作音の音量を設定します。 設定範囲:0~7 (初期設定:3)

オートスリープ時間を設定する

項目名: オートスリープ時間

最後に操作してからスリープに移行するまでの時間を設定できます。
5分、10分、15分から選択ができます。(初期設定:5分)

カメラの日時を設定し直す

項目名: 日時設定

年、月、日、時、分、am(pm)/24hの項目をタップし、上下スワイプで値を変更します。
日時を変更したあとは、Ⓚをタップして修正結果を確定させます。
• 入力できる日付は、2022年1月1日~2099年12月31日です。

日付の表示の並びを変える

項目名: 表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。
例) 2022年7月10日

年/月/日	2022/07/10
日/月/年	10/07/2022
月/日/年	07/10/2022

表示言語を切り替える

項目名: Language

画面のメッセージの言語を設定します。
日本語とEnglishの切り替えができます。

ホワイトバランス調整

項目名: ホワイトバランス

通常光および偏光で観察、撮影する静止画および動画のホワイトバランスを調整できます。
詳細は44ページをご覧ください。

グリーン撮影調整

項目名: グリーン撮影調整

グリーン光で観察、撮影する静止画および動画の色味を調整できます。
詳細は45ページをご覧ください。

医師IDを設定する

項目名: 医師ID

カメラ起動時に、医師IDを入力するかON/OFFを切り替えます。
医師IDを変更するには、“医師ID”をタップしてIDを登録し直します。

患者IDを設定する

項目名: 患者ID

カメラ起動時に、患者IDを入力するかON/OFFを切り替えます。
患者IDを変更するには、“患者ID”をタップしてIDを登録し直します。

偏光のON/OFF設定

項目名: 偏光

偏光のON/OFFを切り替えます。

再生フォルダーを設定する

項目名: 再生フォルダー

再生モードで表示する静止画または動画ファイルが保存されたフォルダーを選択できます。

初期設定は、最新の静止画または動画ファイルが保存されたフォルダーです。
任意のフォルダーを選択した場合も、新たに撮影した静止画や動画ファイルは、最新のフォルダーに保存されます。
ファイルとフォルダーの詳細については62ページの「ファイルとフォルダーについて」をご覧ください。

ごみ箱機能設定

項目名: ごみ箱機能

ごみ箱機能のON/OFFを切り替えます。

ON	選択したファイルは、ごみ箱へ移動します。
OFF	選択したファイルは、完全に消去されます。

サムネイル表示の日付ラベル設定

項目名: 日付ラベル

サムネイル表示にある日付ラベルを表示させるかON/OFFを切り替えます。

ロックNo.設定

項目名: ロックNo.

カメラ起動時に、ロックNo.を入力するかON/OFFを切り替えます。

ロックNo.を変更するには、“ロックNo.”をタップして登録し直します。

メモリーをフォーマットする

項目名: フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- ・フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ・フォーマットすると、ごみ箱機能(67ページ)をONに設定していても、画像は消去されます。
- ・フォーマットするときは、電池残量が十分な電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- ・フォーマット中は、絶対に電池カバーを開けないでください。カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す

項目名: リセット

購入直後の設定(初期値)については、85ページをご覧ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

- ・日時設定

カメラのファームウェアのバージョンを確認する

項目名: バージョン情報

カメラの機種名、カメラに搭載されているファームウェアのバージョン、およびMACアドレスを表示します。

- MACアドレスとは、ネットワーク機器を識別するために設定されている固有の番号のことです。
- カメラのファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、取扱説明書の記載に従って、正しくお使いください。



危険

死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



水ぬれ禁止

○記号は「してはいけないこと」を意味しています
(左の例は、水ぬれ禁止)。



感電注意

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています
(左の例は、感電注意)。



電源プラグ
を抜く

●記号は「しなければならないこと」を意味しています
(左の例は、電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 危険

リチウムイオン充電電池について



指定以外の方法で充電しない。

指定以外の方法で充電すると、電池が発熱・発火・破裂させる恐れがあります。



水や海水などにつけない、ぬらさない。ぬれた電池を使わない。

電池が発熱・発火・破裂する恐れがあります。

水ぬれ禁止



指定機器以外で使わない。

電池が発熱・発火・破裂する恐れがあります。

発熱・発火・破裂を防ぐため、次のことは必ず守る。

- 指定の電池以外は絶対に使わない
- 火中に投入しない、加熱しない
- 極性(+-の向き)に注意して正しく入れる



- ネックレス・コインなどの金属類と一緒に持ち運んだり、保管をしない
- 分解・改造しない、針を刺さない、強い衝撃(踏みつけるなど)を与えない、直接ハンダ付けしない
- 電子レンジ・乾燥機・高圧容器などに入れない
- 外装シールを剥がさない



漏液・異臭・発熱・変色・変形・その他異常を見つけたときは、取り扱いに注意して機器や充電器から直ちに電池を取り出し、火気から遠ざける。

その電池は使用しない。

そのまま使用すると、電池が発熱・発火・破裂する恐れがあります。

直射日光の当たる所、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温になる場所で使わない、放置しない。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

また、電池の膨れにより電池が取り出せなくなる恐れがあります。



電池の液が皮膚や衣服についたら、すぐにきれいな水で洗い流す。

皮膚がかぶれる恐れがあります。

目に入った場合は、失明などの恐れがあります。

洗浄後、すぐに医師の診察を受けてください。

警告

本体充電用ACアダプターについて



AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。

- ・ 指定品以外の AC アダプターは絶対に使わない
- ・ AC アダプターを指定の機器以外には絶対に使わない
- ・ 電源は、AC100V(50/60Hz)以外のコンセントは使わない
- ・ たこ足配線をしない
- ・ 布団、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない
- ・ 重いものを乗せない、電源コードを束ねたまま使わない
- ・ 加熱しない、加工しない、傷つけない
- ・ 無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



AC アダプターや電源コードが傷んだら、「修理に関するお問合せ先」に連絡する。

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

ACアダプターは水がかからない状態で使用する。

液体がかかると火災・感電の原因となります。

AC アダプターや電源コードの上に花瓶など液体が入ったものを置かない。
水がかかると火災・感電の原因となります。



感電注意

雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。

感電の原因となります。

置き場所・使用場所について



次のような場所に置かない、使わない。

火災・感電の原因となります。

- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- ・ 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かない。

落下・転倒時には、けがの原因となります。

⚠ 警告

異常(煙・臭い・発熱など)について



発煙・臭い・発熱などの異常状態で使わない。落としたときなど破損したまま使わない。

火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。

1. 電源を切る
2. AC アダプター使用時は、電源プラグをコンセントから抜く
3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する

表示画面について



液晶モニターは強く押さない、強い衝撃を与えない。

液晶モニターのガラスが割れてけがの原因となります。

液晶モニターが割れた場合、内部の液体には絶対に触れない。

皮膚に付着したりしたら、炎症の原因となります。

口に入ったりしたら、すぐにうがいをして医師に相談してください。

目に入ったり、皮膚に付着したりしたら、清浄な水でよく洗い流して、医師に相談してください。

分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

内部の点検・調整・修理は「修理に関するお問合せ先」に連絡する。

感電・やけど・けがの原因となります。

水・異物は避ける



水、液体(スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など)、異物(金属片など)が本機やACアダプターの内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺、風呂場での使用は特にご注意ください。

1. 電源を切る
2. AC アダプター使用時は、電源プラグをコンセントから抜く。また、カメラから電池を取り出す
3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する



本機や AC アダプターの上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。

倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。

警告

他の電子機器への影響について



他の機器に電波障害などが発生した場合は、無線機能を使用しない。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

航空機内では、航空会社の指示に従う。

使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。

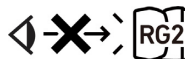
高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。

点灯中にのぞかない



点灯中にLEDライトをのぞきこまない。
網膜に損傷を与える場合があります。



⚠ 注意

リチウムイオン充電電池について



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める。
充電を続けると、発熱・発火・破裂の恐れがあります。



ひどく膨れた電池は使用しない。

機器から電池が取り出せなくなります。

取り出せない場合は、「修理に関するお問合せ先」に連絡してください。

本体充電用ACアダプターについて

ACアダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。



・布団、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない



・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む



電源プラグ
を抜く

・使用後は、電源プラグをコンセントから抜く



・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ず電源プラグを持って抜く)



電源プラグ
を抜く

・長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く



・電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する



・電源コード(特に電源プラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使わない

お手入れについて



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源を切って AC アダプターをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

また、電源コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

コネクター部への接続



コネクター部に、指定品以外は接続しない。

火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる



本機に記憶させた内容は、パソコンなどに転送してバックアップを保管する。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

メモリー保護について



取扱説明書を読んで、メモリーカードやリチウムイオン充電電池を正しく交換する。

データが消えたり、変化したりすることがあります。

カメラスタンドは正しく使用する(カメラスタンドは別売です)



使用時と保管時にカメラスタンドが転倒しないよう次のことは必ず守る。
カメラスタンドの倒壊、本機の落下によるけがの原因となることがあります。

- 本機は取扱説明書に従ってカメラスタンドに正しく設置する
- カメラスタンドのアームを操作するときはアームの間に手を挟まないように注意する
- 本機の設置や移動時は、ハンドルを持つ
- 収納時はキャスターのストッパーを必ずかける

使用上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「使用上のご注意」をよくお読みの上、取扱説明書の記載に従って、正しくお使いください。

■ 網膜や角膜の炎症、網膜剥離、視力の低下、失明などの原因となります



LED ライト照射時の光源は、直視しないようにしてください。

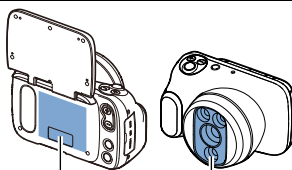


観察時に患者の眼にLED ライトが照射されないよう注意してください。

■ 低温やけどの原因となります



直ちに熱いと感じられなくてもLED ライト周辺および本体背面部が高温になるため、本機の使用時は、触れないようにしてください。



塗りつぶし箇所：
本体背面部

塗りつぶし箇所：
LEDライト周辺

■ 発煙、変色、故障などの原因となります



LEDライト発光部に触れないでください。

LEDライトに汚れや異物が付着している状態で発光させないでください。

■ 他の電子機器への影響を及ぼす原因となります



植込み型または装着型医療機器をご使用の方に本機を近づけないでください。
撮影する場合は、患者の様子に充分注意しながら短時間で撮影してください。

■ 発熱、発火、破裂、失明、火傷、破損などの原因となります



リチウムイオン充電電池が充電時間を超えても、充電が完了しない場合は充電を停止してください。リチウムイオン充電電池が発熱、発火、破裂する恐れがあります。



リチウムイオン充電電池は金属類と一緒に持ち運びや保管をしないでください。
リチウムイオン充電電池が発熱、発火、破裂する恐れがあります。



リチウムイオン充電電池の漏液で皮膚や衣服に付着した場合は、直ぐに綺麗な水で洗い流してください。皮膚のかぶれ、目に入った場合は、失明の恐れがあります。



リチウムイオン充電電池が漏液したり、異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。漏れた電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。



液晶モニターの開閉時に液晶モニターを強く押したり、タッチパネル使用時に先の尖った物や硬い物で押したりしないこと。液晶モニターが破損する原因となり、割れたガラスによって傷害の恐れがあります。



本機は使用環境の温度範囲で使用してください。直射日光の当たる場所や暖房器具等、高温環境での使用は、発熱、発火、破裂の恐れがあります。



本機を濡らさないまたは濡れた手で操作しないでください。発熱、感電、火災、火傷、故障、破損などの原因となります。



オートクレーブ等による滅菌処理をしないでください。感電、火災、火傷、故障、破損の原因となります。

■ 不正な動作を起こす原因となります



電磁波を発する照明機器や通信機器は、本機の近くで使用しないでください。互いに不正確な動作を生じる可能性があります。

■ 発熱、発火、破裂、故障、破損などの原因となります



落下させる等の強い衝撃を与えないように注意すること。レンズに強い力を加えないこと。発熱、発火、破裂、故障、破損の原因となります。



カメラ本体をレンズで支えるような撮影方法など、レンズに強い力がかかるようなことはしないでください。



カバンなどの中に入れる場合はカメラに無理な力が加わらないようにご注意ください。特にレンズは、付属のレンズキャップを付けるなどして保護してください。



リチウムイオン充電電池およびACアダプター、ケーブル等は必ず指定の製品をご使用ください。指定した製品以外を使用した場合は、破損および誤動作を引き起こす可能性があります。
また、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。



他の機器と近接させたり、積み重ねて使用することを避けてください。不正確な動作を生じる可能性があります。



本機の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他の異常に気づいたときは、直ちに使用を中止してください。使用を継続するとリチウムイオン電池が発熱、破裂、発火する原因になります。



本体充電用ACアダプター、HDMIケーブル、マイクロUSBケーブルを使用しないときはカメラ本体から抜いてください。



本体充電用ACアダプター、HDMIケーブル、マイクロUSBケーブルを接続した状態で、カメラ側のコネクタに無理な力が加わらないようにしてください。コネクタが破損する可能性があります。

■ 人体への損傷の原因となります



観察、撮影時にはカメラのグリップをしっかりと握り、落下にご注意ください。特に患者の上で作業するときは、患者に直接落下しないようご注意ください。

■ ウイルス感染、情報漏洩の恐れがございます



PC（Wi-Fi経由またはUSB経由）と接続する際には厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した環境で使用してください。



所有者が不明もしくは自身が管理していないメモリーカードは使用しないでください。PCをネットワークに接続した環境下で使用する際は、コンピュータウイルスおよび情報漏洩などにご注意ください。

外圧や衝撃、落下など取り扱い上の過失による、レンズや液晶モニター、内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

■ 保管上および輸送時のご注意

- ・ 保管温度範囲／輸送温度範囲：-20～60℃
- ・ 保管湿度範囲／輸送湿度範囲：10～85%（結露しないこと）
- ・ 感染症の予防のため、電源を切って、レンズ部、本体の汚れをふき取り、清潔な状態で保管してください。
- ・ 故障する恐れがあるため、高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ・ 落下等で本機の故障や破損および人体へのケガの原因となるため、高所などの場所には保管しないでください。
- ・ 電池が消耗し充電に時間がかかる場合や本機を長期間使用しない場合は、本機が壊れる恐れがあるため、リチウムイオン充電電池を本体から取り外して保管してください。
- ・ 施錠可能な棚など、本機が盗難されないような対策した場所に保管してください。

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いた
- 電源を切ったときに動作確認インジケーターが緑色に点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けた
 - 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。すみやかに新しい電池に交換してください。
- その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(89ページ)。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: 10～30℃
- 使用可能湿度範囲: 10～85%RH (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所
 - 高所など、落下等で本体の破損や人体へのケガの恐れのある場所
- 屋内で使用してください。(診療室や在宅診療の家屋内など)

■ 結露について

真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、電池カバーを開けたまま数時間放置してください。

■ レンズについて

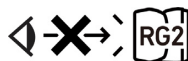
レンズ面に傷がついたり、レンズ部の故障の原因になるので、レンズ面を強くこすらないでください。

■ LEDライトについて

- LEDライトの種類は通常光、グリーン光、偏光の3種類です。
- LEDライトを直視したり、電源が入った状態で、レンズをのぞき込まないでください。
- 強い光が目に入り、網膜や角膜の炎症、網膜剥離、視力の低下、失明などが起こる可能性があります。

リスクグループ2

明るい光源のため、LEDライトをのぞき込まないでください。 RG2 IEC62471:2006



■ カメラのお手入れについて

- 使用前、使用後は、レンズにゴミやホコリが付着していないか確認してください。付着している場合は、適正な濃度のアルコール系消毒液等を含ませた清潔なガーゼや柔らかい布でレンズの汚れをふき取ってください。
- 使用前、使用後は、本体やレンズに汚れ、欠け、割れがないか確認してください。
- 破損した機器は使用しないでください。
- 少しでも異常を感じた場合は、すぐに使用を取りやめ、修理に関するお問合せ先にご連絡ください。

■ 本機および別売品の取り扱い注意事項

- 廃棄またはリサイクルについては、関連する法規制等に従って処理してください。

■ リチウムイオン充電電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



Li-ion 00

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

＜最寄りの排出協力店・排出協力自治体へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご覧ください。

- ・ ホームページ <https://www.jbrc.com/>

■ 使用済みリチウムイオン充電電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ 無線機能(無線LAN)の使用上のご注意

- この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- 本機は米国再輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

本製品には電波法に基づく工事設計認証(認証番号:007-AH0009)を受けた特定無線設備を内蔵しています。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- 本機は、EMC規格に適合していますが、近くに高周波発生機器(携帯電話等)がある場合は、誤動作する可能性があります。誤作動した場合、高周波発生機器を遠ざけて使用してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にご連絡ください。

周波数の見方について

無線LAN

2.4DS/OF2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、干渉距離は20mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

- ・ 撮影対象の患者については、年齢の制限はありません。
- ・ 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ・ 携帯型無線通信機器（アンテナケーブルおよび外部アンテナ等の周辺機器を含む）を本機の30cm以内に近づけないでください。機器の性能が低下する可能性があります。

■ 商標、登録商標について

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- ・ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- ・ Windows、Windows Media、Windows 10およびWindows 11は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- ・ macOSは、Apple Inc.の商標です。
- ・ HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- ・ Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- ・ その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製（コピー）したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア (Open Source Software) について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

BSD License

Copyright (c) 1987 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

電源について

充電について

■ 充電中にカメラの動作確認インジケーターが赤色に点滅したときは

- 本体周辺の温度または電池の温度が高温または低温状態で、充電できないことを示しています。本体充電用ACアダプターを抜いて常温でしばらく放置したあと、使用可能温度範囲で充電を再開してください。
- 電池の接点部の汚れを調べてください。汚れていたら、乾いた布で拭いてください。

上記の処置をしても動作確認インジケーターの点滅がおさまらない場合は、電池の不良が考えられます。本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

リチウムイオン充電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 使用可能温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。
- 電池の外装シールを破ったり、はがしたりしないでください。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。なお、古い電池は使用せずに最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください(80ページ)。
- リチウムイオン充電池をお買い求めいただく際には、別売のDNP-100Mをご購入ください。

■ 保管上のご注意

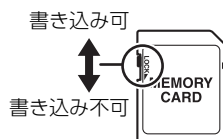
- 使用しないときは必ず電池をカメラから取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、カメラが壊れたりします。
- 乾燥した涼しい場所(20℃以下)で保管してください。
- 長期間保管される際は、1年に1度、10～15%程度(液晶モニター上に表示される電池残量表示は17ページ)の充電を行ってください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については22ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、またはSDXCメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア（光ディスク（Blu-ray、DVDなど）、ハードディスクなど）にバックアップして控えをとることをおすすめします。



■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D's IMAGE STOREの「サポート」(https://dz-image-store.casio.jp/support/ob_gyn/)にある「Q&A」をご覧ください。また、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にご連絡ください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄／譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「消去」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能（67ページ）で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

撮影モード、再生モードで表示されるメニューで、リセット操作(67ページ)でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

- 「-」表記の設定項目は、リセット操作しても初期値に戻りません。

重要

- 撮影モードによっては、使用できないメニューがあります。

無線設定	無線機能	: OFF	Language	English
	無線モード	: AP	ホワイトバランス	固定
	SSID	: DZ-C100	グリーン撮影調整	± 0
	パスワード	: 00000000	医師ID	起動時に医師IDを入力する : OFF
静止画サイズ	20M		患者ID	起動時に患者IDを入力する : OFF
液晶設定	0		偏光	OFF
操作音	起動音	: OFF	ごみ箱機能	OFF
	ハーフシャッター	: OFF	日付ラベル	OFF
	シャッター	: OFF	ロックNo.	起動時にロックNo.を入力する : OFF
	操作音	: OFF		
	操作音量	: 3		
オートスリープ時間	5分			
日時設定	-			
表示スタイル	年/月/日			

故障かな？と思ったら

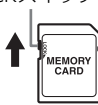
現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない(13ページ)。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(15ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の性能寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電電池(DNP-100M)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた可能性があります(17ページ)。電源を入れ直してください。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(15ページ)。 3) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。
充電について	
動作確認インジケータがオレンジに点灯せず、充電できない。	1) カメラに接続している本体充電用ACアダプターのケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください(14ページ)。 3) 本体充電用ACアダプターの接続、または電池を入れなおしても充電できない場合、電池が静電気放電等により破損した可能性があります。電池を交換してください。
撮影について	
シャッターボタンを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている場合は、 [▶] 再生ボタンまたはシャッターボタンを押して撮影モードにしてください。 2) “メモリがいっぱいです”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 観察部位をフォーカスフレームの中央に合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(15ページ)。
画像にノイズが入る。	観察部位が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。LEDライトなどを使用して明るくして撮影してください。

現象	考えられる原因と対処
撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が  になったら、速やかに電池を充電してください(17ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
動画撮影中に画像がぼける。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい観察部位にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
動画撮影が終了できない。	静電気放電等により、液晶モニターの画面が変わらず動画撮影を終了できない場合があります。ACアダプターのケーブルを抜き差し、または電池を入れ直して、電源を入れ直してください。
動画撮影が勝手に終了した。	カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの温度を下げてからご使用ください。
機能の設定が変更できない。設定項目が表示されない。	撮影モードによっては、使用できない設定項目があります。
再生について	
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
無線機能について	
無線LANに接続できない。接続が途切れる。	1) カメラとパソコンまたは無線LANルーターが離れていると、カメラに接続できません。 2) パソコンが他の無線機器と接続している可能性があります。パソコンの無線接続設定で、本機が選ばれているか確認してください(52ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器を近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。 4) 上記のいずれも問題はなく接続できない場合、静電気放電等によりカメラが破損した可能性があります。本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
その他	
画面に表示される日時や記録したデータの日付が正しくない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(65ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(65ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実に接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを經由してパソコンと接続すると、正常に認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。 4) 電池消耗マークが  のときは、USB通信できない場合があります。電池を充電してから接続してください。

現象	考えられる原因と対処
カメラの電源を入 れると、時計設定画 面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(17、26ページ)。 2) カメラ内部の内蔵メモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(67ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに時計設定画面が表示されなければ、カメラ内部の内蔵メモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても時計設定画面が表示される場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
画面に色々なマー クや数字などが表 示される。	画面には撮影に必要な表示や撮影した画像の情報などが表示されます。  をタップするごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます(12ページ)。
購入後、時計を設定 したあと、すぐに電 池を抜いたら、設定 した時刻がリセッ トされた。	電池を入れ、時計を設定し直してください(26ページ)。その後、24時間以上は電池を入れたままにしておいてください。 24時間以上、電池を入れているのに、電池の抜き差しで時刻がリセットされる場合は、カメラの設定保持機能が壊れている恐れがあります。この場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
電源を入れた直後、 ボタン操作ができ ない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。

画面に表示されるメッセージ

カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(67ページ)。  重要 フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(67ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、また LOCKスイッチはSDXCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイル进行操作することができません。 
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
電池容量がなくなりました	電池容量がなくなったときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
送信に失敗しました	画像管理ソフトD's IMAGE Viewer Cへの画像送信が失敗したときに表示されます。
通信が切断されました	Wi-Fi接続中のPCとの通信が切断したときに表示されます。
Wi-Fi接続に失敗しました	接続先PCとのWi-Fi接続に失敗したときに表示されます。

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

画像サイズ(pixels)	ファイルサイズ	内蔵メモリーでの 撮影枚数※1	メモリーカードでの 撮影枚数※2
20M (5184×3888)	8.06MB	5	1860
12M (3968×2976)	4.72MB	9	3190
5M (2560×1920)	1.97MB	23	7590

動画

画像サイズ/ pixels(音声)	転送レート (フレームレート)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリーでの 記録時間※1	メモリーカード での最大記録 可能時間※2	1分録画時 のファイル サイズ	一回当たり の連続撮影 可能時間※3
UXGA 1600×1200 (モノラル)	18 Mbps (30 fps)	1.4GB まで	18秒※4	約1時間55分	140MB	約10分

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約40.0MB)の場合です。

※2 16GB SDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数・記録時間は異なる場合があります。

※3 1ファイル最大サイズよりも容量の小さいメモリーカードを使用する場合は、記載の時間より短くなります。

※4 内蔵メモリーでは、動画の転送レートを十分に満足できません。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください(22ページ)。

- ・撮影枚数／撮影時間／記録時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ・ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
- ・容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

主な仕様／別売品

画像ファイル形式	静止画: JPEG (Exif Ver. 2.3 / DCF2.0準拠 / DPOF未対応) 動画: MOV形式、H.264 / AVC準拠、IMA-ADPCM音声 (モノラル)
記録媒体	内蔵メモリー (画像記録エリア: 約40.0MB*) SD / SDHC / SDXC ※ 内蔵メモリーをフォーマット後の容量
記録画素数	静止画: 20M (5184 × 3888) / 12M (3968 × 2976) / 5M (2560 × 1920) 動画: UXGA (1600 × 1200)
有効画素数	約2016万画素
撮像素子	サイズ: 1/2.3型CMOS (裏面照射型) 総画素数: 約2114万画素
レンズ	F3.3 / f=33.43mm (35mmフィルム換算233mm相当)
ズーム	デジタルズーム8倍 ズーム分解能: 0.1倍
フォーカス	コントラスト検出方式オートフォーカス
撮影可能範囲	レンズ先端から観察部位までの距離 約19cm～38cm
露出補正	-2.0EV～+2.0EV (0.1EVステップ)
シャッター方式	CMOS電子シャッター
シャッタースピード	2秒～1/8000秒
LEDライト切替	通常光 / グリーン光 / 偏光

ホワイトバランス	オート / 固定
グリーン撮影調整	手動調整
ISO感度 (標準出力感度)	オート
通信機能	Wi-Fi: ・ 準拠規格: IEEE 802.11b/g/n ・ 使用周波数範囲: 1～13ch 2412MHz～2472MHz ・ 暗号化方式: WPA2 ・ 放射電力: 8.51mW
液晶モニター	3.0型TFTカラー液晶 1,036,800ドット 静電容量式タッチパネル
外部接続端子	マイクロUSB端子 (Hi-Speed USB準拠)、マイクロHDMI端子 (タイプD)、DCジャック (5V/3A)
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
電源	リチウムイオン充電電池 (DNP-100M) × 1個
耐用年数	5年

電池寿命

新品の電池の満充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。

下記の電池寿命は温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数※1	約185枚
動画実撮影時間※1	約45分

- ・ 温度: 23℃
- ・ 使用電池: DNP-100M (定格容量 1690mAh)
- ・ 記録メディア: 16GB SDHCメモリーカード (SanDisk Corporation製)

※1 CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格に準ずる

- ・ この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。

消費電力 DC3.7V 約5.5W

外形寸法 幅127.5mm×高さ76.0mm×奥行き78.0mm

質量 約430g
(リチウムイオン充電電池およびメモリーカード含む)
約380g
(リチウムイオン充電電池およびメモリーカード除く)

適合規格 IEC60601-1
IEC60601-1-2
モニターおよびパソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CE、UKCAに適合している製品をご使用ください。
適合しない製品を使用した場合、適合規格を満足しない可能性があります。

エミッション CISPR11 グループ1 クラスB
適合クラス・グループ IEC61000-4-3 放射RF電磁界
イミュニティ 在宅ヘルスケア環境
試験レベル IEC61000-4-6
RF電磁界によって誘発する伝導妨害
在宅ヘルスケア環境

電撃に対 クラスⅡ 機器
する保護
の形式

■ リチウムイオン充電電池 (DNP-100M)

定格電圧 3.7V (直流)

外形寸法 幅36.0mm×高さ55.2mm×奥行き13.7mm

質量 約46g

消費電力 6W

■ 本体充電用ACアダプター (AD-M50300AC)

定格電圧 出力5.0V (直流)

周波数 50Hz/60Hz

外形寸法 幅70mm×高さ48mm×奥行き35mm (突起部除く)

質量 約137g

電撃に対する クラスⅡ 機器
保護の形式

消費電力 15W

■ 別売品 (追加購入可能 2024年11月14日現在)

- ・ リチウムイオン充電電池 DNP-100M
- ・ 本体充電用 ACアダプター AD-M50300AC
- ・ カメラスタンド CST-100M ※2
- ・ 充電器セット DCS-100M ※2

※2 非医療機器

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、D'z IMAGE STOREでご注文いただけます。



<https://dz-image-store.casio.jp/>

■ 記号一覧表

	電源マーク	IEC60417-5009 電源（待機）を示すマーク
	技適マーク	電波法令で定めている技術基準に適合している無線機であることを証明するマーク
	CEマーク	Regulation (EC) No 765/2008 本体充電用ACアダプターに印字されているマーク EU市場に販売する製品がEU指令に準拠していることを意味するマーク
	RG2 IEC62471: 2006	LED ライト照射時の光源がIEC62471のリスクグループ2を示すマーク リスクグループ2：光源を直視しないでください。網膜への傷害が起こる可能性があります。
	クラスⅡ 機器マーク	IEC60417-5172 クラスⅡの機器基礎絶縁と付加絶縁とから成る二重絶縁または強化絶縁が機能するように設計されているME機器に付けるマーク
	直流マーク	IEC60417-5031 直流を示すマーク
	AC プラグ マーク	JEITA CP-1104B-01030 JEITA の極性統一に準拠している機器に付けるマーク
	屋内使用 マーク	IEC60417-5957 屋内専用で使用するために設計された電気機器を意味するマーク
	WEEE 指令 マーク	IEC60417-6414 リチウムイオン充電電池に印字されているマーク EU市場に販売する製品がWEEE 指令対象製品であることを示すマーク
	PSE マーク	電気用品安全法 特定電気用品に適合した製品を示すマーク
	JET マーク	(財) 電気安全環境研究所の安全試験、検査に合格したことを示すマーク
	DOE 規格	アメリカ合衆国エネルギー省 (DOE) 外部電源規制レベルVに適合した製品を示すマーク
	スリーアロー マーク	『資源有効利用促進法』で制定されたリチウムイオン充電電池のリサイクルマーク
	RBRC マーク	米国の二次電池回収組織(RBRC)に加入していることを示すマーク
	一般禁止	JIS S0101 製品の取扱いにおいてその行為を禁止するために用いるマーク

	水濡れ禁止	JIS S0101 防水処理のない製品を水がかかる場所で使用したり、水にめ らすなどして使用すると漏電によって感電や発火の可能性を示すマーク
	接触禁止	JIS S0101 製品をぬれた手で扱うと感電する可能性を示すマーク
	分解禁止	JIS S0101 製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すマーク
	一般注意	JIS S0101 特定しない一般的な注意を示すマーク
	感電注意	JIS S0101 特定の条件において、感電の可能性を示すマーク
	一般指示	JIS S0101 使用者に対し指示に基づく行為を強制するマーク
	電源プラグ をコンセ ントから抜 け	JIS S0101 使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示するマーク
	HDMI マーク	HDMIが使用できる製品であることを示すマーク
	SDカード	SD、SDHCおよびSDXCロゴ表示のあるメモリーカードが使用可能で、転送 速度はUHS-Iクラスであることを示すマーク
	無線機能 に対する マーク	Wi-Fiの無線機能が搭載された製品であることを示すマーク
	リサイクル マーク	プラスチックに対するリサイクルマーク
	ダンボール	
	リサイクル マーク	段ボールに対するリサイクルマーク
	取扱説明書 を参照	取扱説明書・冊子を調べるのが義務的な行為であることを示すマーク

保守・点検事項

保守点検の内容は以下のとおりです。記載内容に従って実施してください。

点検の結果、不具合や破損が見られた場合は、本書記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

日常点検

- 本体およびレンズに汚れ、欠け、割れがないか確認してください。
汚れは、適正な濃度のアルコール系消毒液等で拭き取ってください。
- 傷が付いていたり、破損したりしている場合は、「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

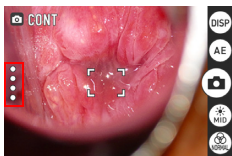
定期点検：ファームウェアの確認

ファームウェアのバージョンを確認し、バージョンが古い場合は最新のものに更新してください。

最新のファームウェアバージョンは下記のWebサイトでご確認いただけます。

https://dz-image-store.casio.jp/fw_dl_C

- ① カメラの電源が入った状態で、画面左端の  (呼び出し) をタップしてメニューを表示します。



- ② メニューの一番上の  (設定) をタップして設定画面を表示します。



- ③ スワイプで設定メニューをスクロールさせ、一番下の「バージョン情報」をタップします。



④ Versionが最新になっていることを確認してください。



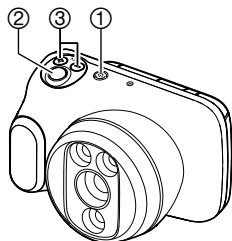
定期点検：ボタン機能の確認

ボタンやタッチパネルが正常に動作することを確認してください。

- ・ リチウムイオン充電池が充電された状態でご確認ください。

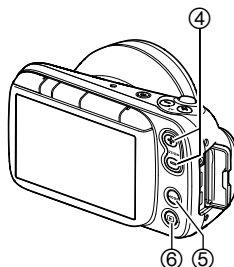
- ① **[⏻]**電源ボタンを押して電源が入るかご確認ください。
- ② 電源が入った状態でシャッターボタンを半押しして、オートフォーカスが機能するかご確認ください。
シャッターボタンを押し込んで撮影ができるかご確認ください。
- ③ EVボタンで画像の明るさが変わるかご確認ください。
＋方向が明るく、－方向が暗くなります。
(範囲は－2.0EV～＋2.0EVで0.1EVずつ変化します)
- ④ ズームボタン(+), ズームボタン(－)でデジタルズームが機能するかご確認ください。
＋方向でズームアップし、－方向でズームアウトします。
(範囲は1.0～8.0で0.1ずつ変化します)
- ⑤ 撮影状態で**[MODE]**ボタンを押して、撮影モードが切り替わるかご確認ください。
画面の左上にモードが表示されています。
- ⑥ **[▶]**再生ボタンを押して、撮影モードと再生モードが交互に切り替わるかご確認ください。

前面



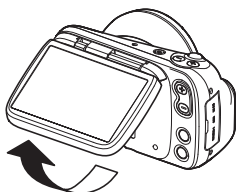
- ① **[⏻]**電源ボタン/
動作確認インジケター
- ② シャッターボタン
- ③ EVボタン

後面

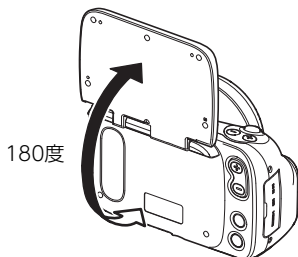


- ④ ズームボタン
- ⑤ **[MODE]**ボタン
- ⑥ **[▶]**再生ボタン

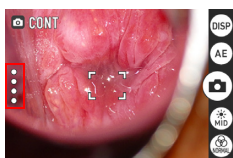
⑦ 液晶モニターを開いてカメラの電源が入るかご確認ください。



⑧ 液晶モニターを180度開いて、液晶モニターに写る映像が上下反転するかご確認ください。



⑨ 撮影状態で画面左端の  (呼び出し) をタップしてアイコンが表示されるかご確認ください。



タップ

画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



⑩ 撮影状態で画面右側のアイコンをタップして機能するかご確認ください。



タップ

画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



- ⑪再生状態で画像の一覧を表示させて、画面を指で上下左右にスワイプして、画像の一覧が移動するかご確認ください。



スワイプ

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。



- ⑫再生状態で画像を一枚表示させて、画面を指で上下左右にスワイプして、画像が前後に切り替わるかご確認ください。



スワイプ

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。

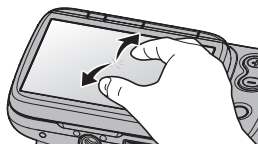


- ⑬再生状態で画像を一枚表示させて、画面を親指と人差し指でピンチアウト／ピンチインして、画像が拡大／縮小するかご確認ください。



ピンチアウト

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。
画像を拡大して表示します。



ピンチイン

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。
画像を縮小したり、画像の一覧を表示します。



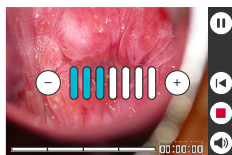
定期点検：マイク／スピーカーの動作確認

マイク／スピーカーが正常に動作することを確認してください。

- 動画を撮影してください(音声も含めて撮影してください)。
- 再生モードで録画した動画を再生してください。
- 画面右下の🔊をタップし、画面に表示された➕をタップして音量を上げて、スピーカーから音が出るかご確認ください。

画面に表示される⊖または➕をタップして音量を設定してください。

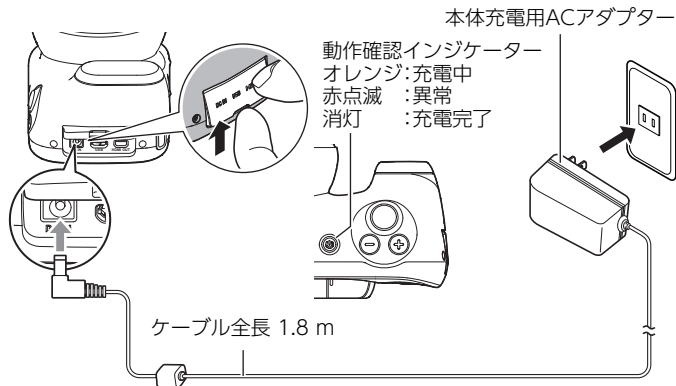
- ⊖で音量なし(ミュート)にすると🔊が🔇になります。



定期点検：電源関連の動作確認

カメラの充電機能を確認してください。

- カメラの【DC IN】ジャックに付属の本体充電用ACアダプターを接続して充電し、動作確認インジケーターがオレンジ色に点灯することをご確認ください。
オレンジのランプがすぐ消える場合は、リチウムイオン充電電池は満充電になっています。
- 本体充電用ACアダプターを接続したままカメラの電源を入れ、カメラが使用できることをご確認ください。



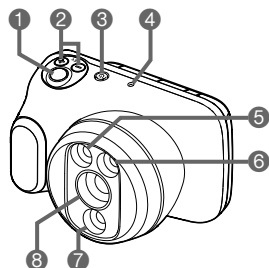
動作	内容
オレンジ点灯	充電中
赤点滅	本体周辺の温度異常／本体充電用ACアダプターの異常／リチウムイオン充電電池の異常(83ページ)
消灯	充電完了

定期点検：外観の確認

製品外観を確認してください。

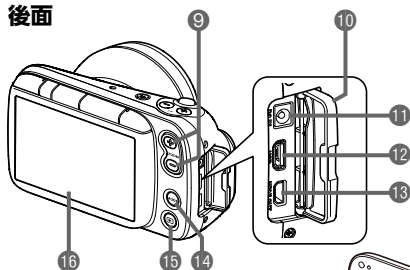
- ・レンズに傷や破損、汚れがないかご確認ください。
- ・汚れがある場合は、適正な濃度のアルコール系消毒液等を含ませた清潔なガーゼや柔らかい布でふき取ってください。
- ・傷が付いていたり、破損したりしている場合は、「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
- ・各ボタンや液晶モニター、底面の電池カバーなどに破損がないかご確認ください。

前面

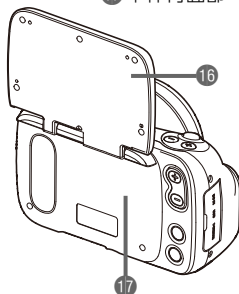
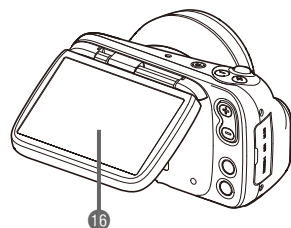


- 1 シャッターボタン
 - 2 EVボタン
 - 3 【】電源ボタン/
動作確認インジケーター
 - 4 マイク
 - 5 通常光ライト ※
 - 6 グリーン光ライト ※
 - 7 偏光ライト ※
 - 8 レンズ
- ※ 5、6、7 はLEDライト

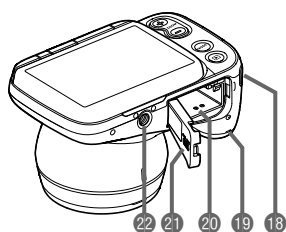
後面



- 9 ズームボタン (30、32、40、46ページ)
- 10 端子カバー
- 11 【DC IN】ジャック
- 12 【USB】端子 (57ページ)
- 13 【HDMI OUT】端子
- 14 【MODE】ボタン
- 15 【】再生ボタン (24、29、32ページ)
- 16 液晶モニター (10、12、29ページ)
- 17 本体背面部



底面



- ⑱ ストラップ取り付け部
- ⑲ スピーカー
- ⑳ リチウムイオン充電電池／メモリーカード挿入部
(13、22ページ)
- ㉑ 電池カバー
- ㉒ 三脚穴

定期点検：業者による保守点検事項

使用者による保守点検事項が確実に履行されていれば、業者による特別な保守点検を必要としません。

不具合や破損等が見られた場合は、本書記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

索引

英数字

AE オート露出	43
AP モード	64
CONT	37
HDMI	48
Language	65
LED ライト	43, 80
LED ライトの種類	43
MOVIE	39
OE 最適露出 (Optimal Exposure) モード	43
SD メモリーカード	22
SDHC メモリーカード	22
SDXC メモリーカード	22
SINGLE	38
SSID	52, 64
STATION モード	64

あ

医師 ID	66
液晶設定	64
液晶モニター	10, 12
オートスリープ	65
オートパワーオフ	17
オート露出	43
音量	65

か

拡大	46
カメラスタンド	4, 18
患者 ID	66
グリーン光画像	37
グリーン撮影調整	45
ごみ箱機能	67

さ

再生 (再生モード)	32, 46
最適露出 (Optimal Exposure) モード	43
撮影	29
撮影 (撮影モード)	37
撮影モード	29

サムネイル表示	46
時刻	26, 65
自動転送	54
充電	15
充電器セット	4, 16
消去	33
情報	12
スリープ	17
静止画	29, 32
静止画サイズ	64
設定	64
セルフタイマー	44
操作音	65

た

タッチフォーカス	31
通常光画像	37
デジタルズーム	40
電源	24, 83
電池残量	17
動画	32, 46

な

内蔵メモリー	90
日時	26, 65
日時設定	65

は

パソコン	56
日付ラベル	67
表示言語	65
表示スタイル	65
ピント	30
ファイル	62
フォーカスフレーム	30
フォーマット	67
フォルダー	62, 63
偏光	66
偏光画像	37
ホワイトバランス	44
本体充電用 AC アダプター	3, 15

ま

無線接続	50
無線設定	64

無線モード.....	51
メッセージ.....	89
メモリーカード	22, 84

	5
リセット.....	67
リチウムイオン充電電池.....	3, 80, 83
レンズキャップ.....	3, 24
露出補正.....	40
露出モード	43
ロック No.....	67

アフターサービス窓口について

機能・操作・購入先に関するお問合せ先



0120-088948

番号通知をお願いしております。

<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合

03-5334-4613

月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00 (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)

●本体・別売品の使い方の窓口です。

修理に関するお問合せ先



0120-099775

番号通知をお願いしております。

<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合

0237-53-9775

月曜日～金曜日 AM9:00～11:30 PM1:30～5:00

(昼休み2時間は休業) (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)

●故障診断・修理料金・修理期間等の窓口です。

本製品の修理サービスに関する業務は山形カシオ株式会社が担当いたします。

サイバーセキュリティに関するお問合せ先

下記メールフォームまたはお電話でお受けしています。

●メールフォーム

<http://dz-image-store.casio.jp/contact>



0120-088948

番号通知をお願いしております。

<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合

03-5334-4613

月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00 (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)

電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

CASIO®

製造販売業者：山形カシオ株式会社

製造業者：山形カシオ株式会社

〒999-3701 山形県東根市東根甲5400-1

MA2411-E

© 2022 YAMAGATA CASIO CO., LTD.